



大阪口腔インプラント研究会
創設 *20*^{th anniversary}



大阪口腔インプラント研究会

創設20周年記念誌

大阪口腔インプラント研究会
20周年記念学術講演会



平成18年5月27日
ホテル“アウリーナ大阪”



創設20周年を迎えて

大阪口腔インプラント研究会

会 長 佐藤 文夫

大阪口腔インプラント研究会創設20周年、誠にお目出度くご同慶の至りでございます。阪本義樹名誉会長を中心に、この会が設立された当時は前世代のブレード・骨膜下インプラントの全盛期でありました。

同時に、それらインプラントの問題点が顕著になってきていた時期でもありました。丁度そのような時期、ヨーロッパより新しい概念に基づいたインプラントが入って参りました。全国において、それらの講習会が業者によって次々行われるようになりました。

インプラントに限らず、業者の歌い文句に踊らされ続けていた臨床家にとって、新しい概念のインプラントと言え俄に信じられぬ気持ちでありました。そのような状況下、大阪口腔インプラント研究会が発足したのであります。我が国の口腔インプラント変革期とも言えるこの時期に、この研究会が生まれ育まれた意義は、誠に大きいものがあったと考えております。

その昔人々は、鳥のように大空を羽ばたき自由に飛ぶことを夢見ました。羽ばたきはしませんが今では鳥を凌ぐ早さ・高さで、果ては宇宙にまでも飛び出しその夢を叶えているのです。口腔インプラントでも、それに近い恩恵を人々に与えているのではないのでしょうか。歯を失った人々に再び咀嚼と審美を回復させ、予知性の高いインプラントを提供できる幸せを今感じている所であります。

最近まで今あるインプラントは、かなりの域にまで達したものと考えておりました。しかし、研究機関・臨床家・メーカーなどの飽くなき挑戦によって、まだまだ進化しつづけている現実を知り、我々の研鑽は限りなく続くものと感じたのであります。

この研究会は20年目を迎えましたが、今後更に永く発展し地域臨床家のため、延いては地域の人々のため有意義な役目を果たすよう願うものであります。

1986

CONTENTS

大

● 佐藤 文夫
会長挨拶

p.3

阪

● 岡 邦 恭 ● 川 添 堯 彬 ● 金 鴻 基 ● 前 田 芳 信
祝辞

p.6

口

● 阪 本 義 樹 ● 西 村 敏 治
設立20周年に思う

p.11

腔

● 奥 田 謙 一 ● 藤 本 佳 之 ● 長 田 卓 央 ● 木 村 正
● 阿 保 幸 雄 ● 高 田 勝 彦 ● 吉 田 春 陽 ● 石 見 隆 夫 ● 山 野 総 一 郎
20周年を迎えて

p.15

イ

● 大 阪 口 腔 イ ン プ ラ ン ト 研 究 会 誌
掲載論文

p.24

ン

● 阪 本 貴 司
日韓口腔インプラント学術交流会

p.45

2005

プ

● 西村 敏治 ● 西川 和章 ● 白井 敏彦
研修セミナー

p.48

ラ

● 特別講演 ● 招待講演 ● 教育講演 ● 一般講演
講演&発表

p.51

ン

● スナッフフォト
20周年記念講演会・祝賀会・日韓学術交流会

p.70

ト

● 大阪口腔インプラント研究会
会則

p.73

研

● 大阪口腔インプラント研究会
研究会歴代役員

p.75

究

● 大阪口腔インプラント研究会
会員名簿

p.78

会

● 阪本貴司
編集後記

p.83





ご挨拶

社団法人 大阪府歯科医師会

会 長 岡 邦 恭

大阪口腔インプラント研究会が創立二十周年を迎えられた事を心よりお祝い申し上げます。また、これを機に記念誌を発行されますことは、真に時宜を得た貴重な企画であると存じます。貴会は、大阪を中心とする臨床歯科医師が口腔インプラント治療の研究を主な目的として、昭和六十一年五月に発足されました。インプラント治療の普及・発展のための研修会や研究発表等の活動を活発に行われ、今日では会員180名を擁するまでに立派な研究会となりました。これも歴代会長をはじめ、役員の方々のご尽力の賜物と深く敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり歯科医療を取り巻く環境は、厳しさを増し、昨年四月には、マイナス3.16%という歯科診療報酬改定が実施され、十月からは七十歳以上の高齢者の三割負担等、患者負担の増大が強いられています。このように厳しい状況ではありますが、大阪府歯科医師会は、地域の方々の健康を守り、国民皆保険制度を堅持するために、今後も力強い提言と行動を続けてまいり所存でございます。

さて、皆様方の暖かいご支援、ご協力を得て実施いたしました夜間緊急歯科診療は、平成十六年六月一日の診療開始から622日目とな

る平成十八年二月十二日には累計患者数が一万人に達し、3月末までに11,194名、一日平均16名の患者さんの来所を見ております。この事実は府民の方々の夜間緊急歯科診療へのニーズがいかに強いかということの証左であり、今後も弛まず継続して行くことにより、地域の方々の安心感を支えるとともに、歯科医療の価値観をさらに高めることができるものと考えております。

結びになりますが、大阪口腔インプラント研究会の皆様方におかれましては、歯学の進歩発展のため今後も佐藤会長を中心に結束され、益々飛躍、発展をされますと同時に会員の皆様方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、創立二十周年記念誌へのご挨拶の言葉とさせていただきます。





大阪口腔インプラント研究会 創設20周年を祝して

社団法人 日本口腔インプラント学会

理事長 **川添 堯彬** (大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座教授)

日本口腔インプラント学会は、昨年度「日本歯科医学会専門分科会への加入」および「社団法人格の実現」を達成し、新たな出発をすることができました。

今後も、口腔インプラントの独自の先進的医療技術の進歩と、国民からの信頼確保に欠かせない健全な倫理観の涵養を同時に研鑽しながら、専門学会としてより発展してゆく責務があります。

この大阪口腔インプラント研究会にも、日本口腔インプラント学会の発足から今日まで、多大な尽力とご努力を注がれた多くの諸先輩がいらっしゃいます。

本研究会が発足されたのは20年前の1985年とお聞きしています。まだインプラント治療が社会に完全に認知されていなかった時期であったと思います。多くの臨床医の熱意と努力の結果、今日ではインプラントは、歯科医療にはなくてはならない再生医療として、その地位を得て多くの患者さんのために役立っています。

今日までの20年間、インプラント治療を広め、その臨床における基礎を確立された阪本義樹名誉会長、西村敏治前会長、佐藤文夫会長、そして関係者の皆様には深甚の敬意と祝意を捧げます。

昨年5月には記念講演会並びに韓国の先生方との交流も含めた、第6回日韓学術交流会も合わせて開催されました。大阪口腔インプラント研究会が今後も、国内のみならず海外の諸先生との交流も深め、引き続き日本のインプラント界をリードしてゆく存在を続けていただきたいと思います。

結びになりますが、本会がますますご発展されますことを記念して祝辞とさせていただきます。





大阪口腔インプラント研究会 創立20周年を祝して

韓国・国際口腔インプラント学会 会長
(公認)大韓歯科移植(IMPLANT)学会創立元老・元会長
金鴻基人工歯牙移植医学研究室 理事長

金 鴻基 (KIM, HONG-KI DDS, Ph.D)

大阪口腔インプラント研究会創設20周年
おめでとうございます。

世界的にもインプラント（人工歯牙移植）
医学の発展は輝かしい歯科医療の姿だと云
えます。インプラントの臨床的成功例は、
1945年第2次世界大戦以降と考えられ、骨内
インプラントを中心に骨膜下インプラント
(Subperiosteal Implant)、骨貫通インプラ
ント(F.M.I.)等の外科的インプラント成功例は、
世界的に著名な口腔外科医、又は歯科補綴
専門医によって1950年代から1960年度にか
けて著書、論文、症例発表によって報告さ
れています。

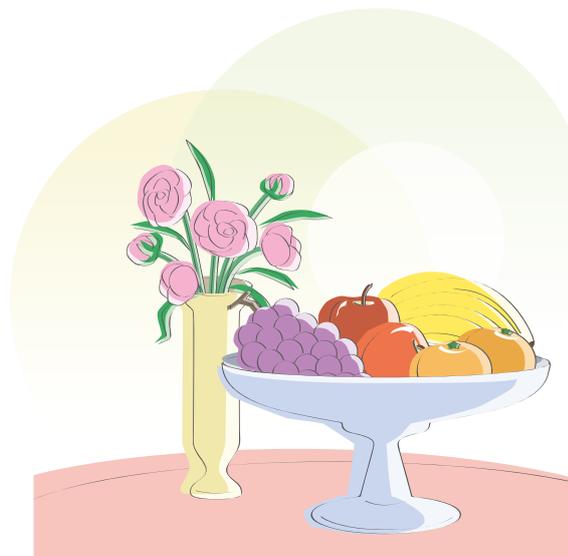
私は、韓国におけるインプラントの発展
にも力を注ぎましたが、1960年代初めから
各種骨内インプラント(Endosseous Implant)
を始め外科的インプラントの症例発表を続
けてきました。

大阪口腔インプラント研究会は20年前に
発足しましたが、その中心となった先生方
とは、私は古くから交流がありました。特
に研究会初代会長である阪本義樹先生とは
旧知の間柄であり、そのことから2001年か
ら韓国・国際口腔インプラント学会と本
会との合同学術交流会もスタートしました。

この場で日本国インプラント歯科医療パ
イオニアである阪本義樹先生に深く感謝い

たします。また西村敏治前会長、佐藤文夫
会長には、今後とも日韓両国のインプラ
ントの発展にお力添えをいただきたく思っ
ています。

世界的にインプラントの技術の進歩は目
覚しく、多くの患者さんが失われた口腔機
能を回復し、自身の歯で生活できる喜びを
感じることでしょう。今後も大阪口腔イン
プラント研究会が日本の歯科医療をリードし、
さらに発展して行くことを祈念してお祝い
の言葉とさせていただきます。





大阪口腔インプラント研究会 創立20周年に際して

社団法人 日本口腔インプラント学会 近畿北陸支部

支部長 **前田 芳信** (大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部教授)

このたびは大阪口腔インプラント研究会創立20周年おめでとうございます。創立されたのが昭和61年ということですので、まだ私自身は補綴科の大学院生としてパーシャルデンチャーに関する学位論文の研究をしていた頃だと思えます。その頃は、京セラのバイオセラムインプラントが普及し始めていた時期であったと思いますが、ほとんど大学ではインプラントは無視されていた時代でした。しかしながら、個人的には興味があり、大学院生の時代に現在の日本口腔インプラント学会に入会して、今日に至っています。

日本のインプラントが今日の隆盛を誇っているのも、大阪口腔インプラント研究会をはじめ、開業されている先生方の中でも熱心に勉強、研究を続けられてきた方々あるいはグループの存在があったからこそであると考えます。現在ようやく、大学においてもインプラントは市民権を得て、研究対象としての大きな分野となっていますが、これからは卒前、卒後の教育においても正しいインプラントの知識を大学が提供しなければならないと考えています。具体的には、私が担当しています、卒後臨床教育におきましても、インプラントに関する基礎知識と技術を獲得してもらうためのセミナーと埋入の実習を開催しています。また卒前の学生教育においても、インプラントの埋入実習が始められています。しかしながらまだまだ大学におけるインプラントはその位置づけから

変えてゆかなければならないと思います。

インプラントは欠損補綴の選択肢のひとつではありますが、私自身はいわゆる欠損補綴に対する「ミニマルインターベンション」の道具、「戦略的な補綴」の道具として位置づけています。これは、単に中間欠損で前後の健全歯を切削することなく補綴できるというのではなく、例えば遊離端欠損であっても、パーシャルデンチャーと組み合わせることで中間欠損化すれば、その後の顎堤の吸収を抑制できるばかりでなく、安定した咬合支持が確保できることを意味しています。つまり、「それ以上に欠損を増やさないために必要な最少限度の治療」にはインプラントは不可欠であると考えています。

英国の大学において歯学部での一年目は歯科医師の1年目と定義されると聞きいたことがあります。つまり歯学の道を歩み始めたら、一生勉強を続けなければならないからだそうです。まわりに熱心な仲間が大勢いることは、励みにもなりまたいろいろなことが吸収できるチャンスがあることになります。その意味でも今後とも大阪口腔インプラント研究会が活発な活動を続けられ勉強の機会を提供していただくことを心より期待しますとともに、日本口腔インプラント学会、近畿北陸支部さらには大学教育へのご協力もどうかよろしく願いいたします。

設立20周年に思う

祝辞



研究会設立20周年に思う

大阪口腔インプラント研究会

名誉会長 阪本 義樹

10年前(1996年)の5月19日に大阪口腔インプラント研究会設立10周年の記念学会を、大阪国際交流センターで開催しました。その宴席で次の20周年は開催できるか、大学の講座にインプラント科が併設されているだろうか、学会が日本歯科医学会の分科会に入っているだろうか、など予測に花を咲かせた記憶があります。

臨床医によって開発され、日本に導入されたブレードインプラントは、骨に支持を求めた画期的な補綴方法であったが、当初不確実な臨床データに大学の賛同が得られないまま、患者の必然的な要望と相まって、臨床先行という形で発展してきました。しかし大学の外来に来院した不良経過などから、時期尚早と表明され、これが普及へ努力を傾注していた先駆者の障壁となり、商業主義の先兵としか認めてもらえない苦難の道が続きました。そのためには先ず成功症例の蓄積が大きな課題であったため、1970年代、導入当初のしばらくは、成功に対して安易な評価を下す甘い傾向も無きにしもあらず。そこで自己に厳しく、衣を着せず、本音で話し合える場を持ちたいという有志が相集い、発足したのがこの研究会であります。

会としての研究テーマは「成功失敗の統一見

解の策定」であり、ガイドラインを設定し、インプラントの植立状態、埋入年数のみならず、周囲組織への影響まで追究する厳しいものでした。入会に際しては持参した症例の検討から始まります。年4回開催される例会では活発な質疑が飛び交い、本音を披瀝して時間を忘れた討論は、会場の熱気と共に参会者に強い印象を与えてきました。

会が誇るもう一つの特徴は研究会誌の発行であります。学術講演や例会の記録、会の動向などを全会員に伝えると共に、外部の関連団体にも活動の実態を理解してもらう格好の手段であります。研究会歴年の事業の詳細を残すということは、記録の保存という単純なものではなく、会運営の美意識を飾る顔でもあります。この20年、会誌は一度の欠号もなく今日に到っていることは、会の存在感・価値感を伝える上においてまことに喜ばしいといわねばなりません。

本会発展の歴史において特筆すべき事業は研修施設の創設であります。

インプラント治療は周囲の組織も含めて幅広い専門知識が要求されますが、大学の講座は縦割型カリキュラムで、インプラントを包含できる余地はありません。そこで日本口腔インプラント学会が大学の講座に代わるものとして、インプラントに

必要なカリキュラムを作成し、これを学会認可の臨床研修施設へ委託した制度であります。かつて、これよりさらに15年前、ブレードインプラント普及のため、旧デンタルインプラント研究学会において3～4日のセミナーを実地した経験から、早速資料等を作成し、施設開設第1号としてのリーダー的役割を果たして、現在に到っております。1994年に発足して以来、現在14期を数え約250名の受講生を送り出し、その中には、すでに学会所定の認定医資格を取得した人も数多く在籍し、研究会の中核として運営に協力してもらっております。

一方、2001年には韓国国際インプラント学会(金鴻基会長)より定期学術交流の申し出があり、これを受けて第1回目をソウル世宗ホテルで、特別講演と研究発表を行いました。第2回目は大阪のホテルアウイーナで開催し、以後相互交流を繰り返して、昨年で6回の実績を重ねています。昨年5月には韓国より夫人も含めて20名が来阪し、盛大に学術の交流が行われました。国際交流はランゲージのハンディーが若干ありますが、学問の修得という本筋の他に、親睦という国際感覚を養える点で、会員にとっても大きな福音であると思います。

インプラントが日本に導入された1970年代の先駆者達は批判と罵声に耐えて苦難を乗り越えてきました。その頃生れた2つのインプラントの学会は臨床医が大部分でしたが、普及伸展の流れのなかで、大学関係者も続々入会し、その勢いを止めることができず、合併一本化した段階で、3000名を越える巨大組織にまで成長しました。これが日本口腔インプラント学会であります。

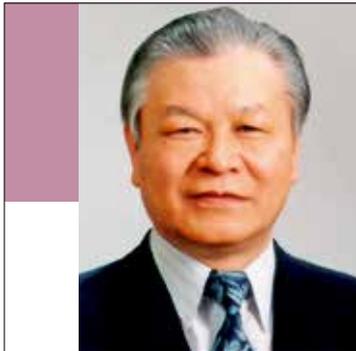
この間に誕生した当研究会は独自性を発揮しつつ、数々の業績を挙げ、会員の学術向上に寄与してきました。これが即、インプラント学会へ

の貢献となって高い期待が寄せられております。この20年を展望しても、材料の改良、器具の規格化、手技のシステム化、周辺組織の改善などインプラントの変革は著しく、これらの流れに取り残されないよう、むしろ積極的に対処して、ここまでこれたのも、会員各位の努力の賜物と感謝しております。

今後、インプラントへの要望は、高齢化、Q.O.Lの高まりと共に、さらに伸びて行くと思われませんが、ただ単に、歯科領域のみならず、外科、整形の分野での応用も視野に入れて、幅広く考えて行く時代がきているように思います。臓器再生の大きな範疇の中で、英知を結集した会員達が、激論を交している例会風景が眼に浮びます。

現在、私は80歳、数年前に第一線の診療から引退しました。大学の口腔外科を離れて、臨床開業医となったのが1960年(S35年)ですから43年の臨床診療歴であります。その中でインプラントとの出会いは、私の人生を大きく左右するものでした。インプラントを始めた1972年(S47年)から34年経つが、多感な思い出が少なくありません。日本に導入された当時を振り返ったとき、或る人は「波乱万丈」と言い、またある人は「修羅場を潜ってきましたネ」と表言してくれました。幸い発展の経道をたどり、大阪口腔インプラント研究会設立の功労者として、名誉会長の称号を賜わり、今回20周年の式典では功労賞と記念品を戴き、まことに光栄の至りではありますが、この名誉は会員各位のインプラントに対する情熱と研究の実績に支えられたものであり、心から感謝申し上げます。

終りに、研究会の今後益々の飛躍に大きな期待を寄せて、稿を閉じます。



「20年をふり返って」

大阪口腔インプラント研究会

西村 敏治

研究会発足のころ

1980年代は、いまだ全国の歯学部、歯科大学においては、インプラントは全く無視するか、微かに胎動はじめた時期だったと云えよう。

わが大阪口腔インプラント研究会の発足時のメンバーは'60年代からインプラントを臨床にとり入れた阪本義樹先生をはじめ、'70年代、'80年代にはじめた臨床医数名が、阪本義樹先生の呼びかけに呼応して、ミーティングを始めた。忌憚のない意見を交換するうち、定期的に時間をかけて勉強会をしようとの思いが煮つまったと記憶する。

私は'77年に大阪厚生年金病院歯科口腔外科に赴任し、翌年、縁あってインプラントと出会い、外傷患者にバイオセラムを植立しはじめた。労災保険や自動車任意保険より支払いが認められるよう奔走し実現したりするうち、インプラントに憑りつかれた時期と重なり、会の発足に意欲的に参画した。

研究会会場に、病院会議室や看護学校教室等を使用できるよう交渉したため、会場費は大いに助かり、会員の強い要望であった「特定の業者から一切の援助を受けない」方針の運営が貫くことができ、かつ、会が継続できてきたと考える。これは大きなメリットであった。

また、会誌の年一回の発刊が続けられてきたことも、特筆すべきことと考える。これも業者の広告は載せず、アカデミズムを貫いてこれたことも誇りに思う。

今後に期待

本研究会の運営のために毎月1回、2~3時間、役員会が続けられてきた。発足時からのメンバーは暫時交代があったが、若い世代がリーダー格に育ちつつあることは喜ばしいし、頼もしいと考える。今や各大学にもインプラント科が育ちつつあるが、スタディグループの役割は、臨床医からのEBMを確立できる可能性は大きいと考える。日本口腔インプラント学会が社団法人となり、専門医制度も本格的に始動しようとしている今、実態あるEBMの確立と、インプラント臨床の水準を向上させる索引役が課せられていると考える。ナマの臨床資料をスタディグループで発表し、ホンネで討議され、それを学会で発表し、論文等に出版し、公表する努力もするべく高い目標をも目指したいものである。

本研究会の20周年は会員一人ひとりにとって意義深い区切りと考える。さらなる発展と継続を期待したい。



創立20周年を迎えて

大阪口腔インプラント研究会

阿保 幸雄

20年前、有能な歯科医の大半がインプラントを正当な治療(acceptable procedure)とは認めませんでした。彼らは間違っていたのでしょうか？

私は彼らは正しかったと思っています。何故なら当時埋入されていたインプラントは第二世代インプラントであり、今の時点から見れば、或いは彼等の目から見れば欠点だらけの物であったからです。

当時インプラントの成功基準について当会の役員会で喧々諤々、激しく議論したことを懐かしく思い出します。我々はその欠点を何とかカバーしながら悪戦苦闘していたのです。そして十数年前、第二世代インプラントの多くの欠点の大半を克服した第三世代インプラントが出現しました。

現在では大半の歯科医がインプラント治療に賛成しています。では、もう安心なのでしょうか？

残念ながら現在のインプラントはまだまだ欠点だらけの物である事を、我々は強く認識すべきです。十分保存可能な歯を抜歯してインプラントを埋入することを、現時点では我々は厳に戒めるべきであると思っています。

今後も当会が時流に流されること無く、ますます発展することを願っています。





創立20周年を迎えて

大阪口腔インプラント研究会

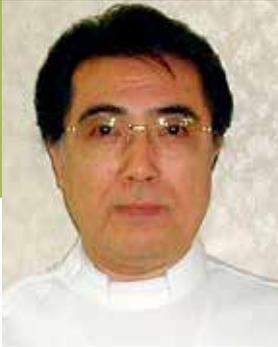
高田 勝彦

大阪口腔インプラント研究会が設立され、早や20年が経ちました。設立時の記念式典に呼ばれ、不安を抱え参加いたしました。阪大OBの顔見知りの先生方がたくさん参加されており、ほっとしたのを思い出します。

例会には、演者と会員との間で激しい討論が行われ、その気迫に圧倒された事がありました。その内その激しさこそがこの会の良いところだと気がつき、毎回参加させていただいています。10年程前には、阪神淡路大震災に遭い、私の診療所も全壊、仮設の診療所で1年半過ごしました。この間、毎月の役員会に参加するのに苦労もありましたが、今振り返ってみると、結構楽しかったように思います。

この会の特徴としては、インプラント治療だけではなく、補綴、歯周病、矯正等々、各分野の専門の先生がおられ、私にとって、包括的歯科治療と言う点では、大変勉強になっております。今後は若い先生方を中心に、ますますこの会が発展していくことを心から願っております。





創立20周年によせて

大阪口腔インプラント研究会

吉田 春陽

大阪口腔インプラント研究会の創設20周年にあたり心よりお祝い申し上げます。阿保先生に口説かれて参加させて頂いた十数年前のことが懐かしく思い出されます。昭和50年代後半には京セラのサファイアインプラントの売り込みがあり、何度も話を聞きましたが、当時、ペリオを勉強中の身にはなかなかインプラント治療に踏み切れずにおりました。ボストンで開かれたPRDシンポジウムに参加した際、阿保先生から強く勧められてやっと重たい腰を上げることになりました。

最初の埋入手術には、ナビゲータとして阿保先生に立ち会って頂き、安心してオペを進めることができました。「何でも気軽に話し合えるインプラントティストの集まりがある。是非参加するように」との厳命を受け、皆様のお仲間に入れて頂いてから早十余年が経ちました。その間、真面目なメンバーだったとはとても申せませんが、定期的で開催される例会と総会には楽しみな企画が目白押しで、インプラント治療のみならず、

ペリオ・エンド・自家歯牙移植・外傷歯治療・再生医療等々多方面にわたり、時代の先端を行く特別講演を拝聴できて、日常臨床を豊かにすることができました。また会員発表では、歯に衣着せないやりとりが展開され、正直ハラハラしたことも一度や二度ではありませんでしたが、真剣な議論を通して誤りや誤解を正し、コンセンサスを得るまで諦めないという姿勢は、参加した会員にとっても得難い経験になったことと存じます。

継続は力なりと申します。20年にわたって年4回の講演会を企画していくのは、歴代会長はじめ担当役員の先生方の並々ならぬご努力があったことと存じますが、一つの学派に偏ることなく、たとえ同じテーマであってもいろんな切り口から攻めて、絶えずアップデートな知見を会員に発信してきたのが当研究会だったと存じます。これからも我々にとって灯台の役目を果たして頂くことを切に希望致します。



本研究会の今日までの流れ

大阪口腔インプラント研究会

石見 隆夫

さて、ここでは、第20号まで発刊されている大阪口腔インプラント研究会雑誌をもとにまとめさせていただきます。

わが大阪口腔インプラント研究会は1986年5月18日に北区堂島1丁目にあるホテルで2~30名の同志が集まり設立総会を開催したのであります。

当時は、口腔インプラントの普及にともなって、業者サイドの利点のみを強調される講習会が多く、混乱を招いていました。

一方、各地で大小の研究会やスタディーグループが設立され、業界誌の講習会の開催ページも随所にみられるようになってきていました。

しかし、その中で1970年ごろよりインプラントを紹介してきた阪本義樹名誉会長が中心となり、理想的な研究会は出来ないものかと、有志の先生方と話し合ったところ、同じ考え方の先生が数多いことを知り、種々検討を重ねた結果、「たとえ少数でも日常歯科医療に真剣かつ前向きに取り組むと共に、今後のインプラントの正しいあり方を追求して行こうという先生方と一緒に、インプラントを多角的に考えて行ける研究会にすべく、我が大阪口腔インプラント研究会を発足したのであります。

5年後には発足当時のフィロソフィーを守り抜きながらも80名を超える会員となり、研究会では講演中の質疑は頻繁に行われ、ときには演者を蚊帳の外において参加者同志のディスカッションが続いたり、コーディネートすべきの座長も立場を忘れて討論に参加してしまうことさえしばしばありました。

そういう研究会の姿勢が一部反省すべき点もありましたが、1) 業者等から一切の援助はうけない 2) 'ほんね'のディスカッションをしよう。という発足当時のモットーで、生き活きた勉強会が今日まで守り続けられていると思います。

7年経過した1993年には3600名を越す日本口腔インプラント学会は、当時この学問を教える講座を持った大学がなく、他の学会には見られない育成機関が必要となり、大学の講座に代わるものだけに、設置基準や運営にも厳しい条件が少なからず課せられ、この基準をすべてクリアして第1回目に指定されたのが、我が大阪口腔インプラント研究会であります。

そこで、日本口腔インプラント学会が委託指定した学外研修施設として、翌年1994年4月23日から11月27日まで、第1回の80時間研修セミナーを開講する運びとなったわけがあります。

この時のことを思い浮かべてみますと、本来の我が大阪口腔インプラント研究会の趣旨と外れてしまうのではないかと懸念の声があがり、会則第6条に3項を加え、研修施設の実施は本会とは別の研修施設運営委員により運営する。ということで、本来の研究会を壊さないように確認しあったことを思い出します。

翌年の1995年1月17日には、兵庫県南部を襲った阪神淡路大震災がおこり、研究会の会員は阪神間に在住の方々が多く、第2回の研修セミナーも危ぶまれましたが、日本口腔インプラント学会が委託指定した学外研修施設という責務をまっとうし、その研修セミナーも今年で13回目を行っております。昨年度までに182名の卒業生を出し、この研究会においてもたくさん先生方のご活躍されています。

そうこうしているうちに1996年5月19日には、大阪国際交流会館にて10周年記念事業を行い、その時に「この10年を振り返っても、インプラントの急速な発展には目を見張るものがある。」と阪本義樹名誉会長は述べておられました。

2001年からは韓国国際口腔インプラント学会と当研究会との交流を持ち、日韓学術交流会を開催し今年で第6回を迎える運びとなっています。

1999年には、我が大阪口腔インプラント研究会を発足から13年間にわたり会長をされていた阪本義樹名誉会長が退き、西村敏治先生が2004年まで後の大役をつとめられ、昨年より佐藤文夫現会長が就任されております。

今回の本研究会誌の巻頭言によると、多くのスタディーグループが分裂消滅していく昨今、我が大阪口腔インプラント研究会は、研究例会では、口角泡を飛ばし議論するが、例会が終わればお互い認め合う。と言う伝統ある形態を20年間こわれることなく維持でき、会長が変わっても、今後ますます白熱した議論が出来るものと信じております。最後に、135名の会員のみなさんと共に設立30年に向かって本当のインプラント界をリードしていきたいと考えております。

なお、本誌に詳しく活動内容は記載されておりますので、じっくりお読みください。



大阪口腔インプラント研究会20周年に寄せて

大阪口腔インプラント研究会

山野 総一郎

私は研究会創立時からのメンバーではありませんが、大学卒業1年目からしばらくはビジターとして、またその後は会員として当会に参加させていただいておりますので、17年余りのかかわりということになります。

ですから、大阪口腔インプラント研究会は私の歯科医師としてのキャリアそのものといっても差し支えなく、日々の診療に対する基本的スタンスは、知らず知らずのうちにここで形成された部分が大きいと思われまます。

振り返れば、この期間はインプラントのみならず、インプラントの普及や発展という大きな波に巻き込まれた周辺の診療科目にとっても激動期であったように思われます。当時使われていたインプラントで現在に至るまでその形を変えずに存在しているものはほぼ皆無と思われまますし、大がかりで複雑な補綴物は影を潜め、矯正の分野にも応用され始め、エンドやペリオに到っては抜歯基準をも見直されようとしています。

インプラントを取り巻くそのような現在の状況の中で、当研究会はどのような役割を果たして行けば良いのでしょうか。第一に新しい情報を積極的に紹介し、ディスカッションにより十分に吟味される場であること、言い換えれば氾濫する情報にスクリーニングをかける役割であり、第二に相互の症例発表などでそれぞれの「ブレ」を修正する場であることではないでしょうか。

大小数多くのスタディーグループが巷に存在する中で、当研究会の強みは様々な分野のスペ

シャリストが在籍していることで、決して一つの価値観に縛られず同じ方向を向いているわけではなく、多様な考え方を受け入れる懐の深さにあると思います。先輩諸氏からのその様な研究会としての美点を今後も踏襲し、大きな二つの役割を今後とも果たしてゆける会であり続けることを願ってやみませんし、いつまでも、私の「ホームグラウンド」であってほしいと思います。





創立20周年によせて

大阪口腔インプラント研究会

奥田 謙一

1995年に80時間セミナーを受講させていただきました。受講した動機はインプラントの進歩がめざましいのではないかと感じていたとき、阪本義樹先生が阪大歯学部同窓会で講演され、その内容に感動し受講することに決めました。

実際社会人が長期にわたり勉強を続けるのは大変でした。いわゆる雑用というやつに邪魔をされ決められた時間に参加することはかなり困難でした。義理の母が他界し、葬儀につづき法事が出席の障害になりました。でもなんとか全部出席することができました。なかまの受講生にも同じような雑用がふりかかりました。

さて20年ぶりの授業はかなりハードでした。なかなか集中がつかずついうとうとすることもありました。しかし半分ぐらい過ぎた頃から少しずつ整理できるようになってきた。まず診査、診断をどのようにすすめていけばいいか。患者さんの主訴、希望を臨床面接で確かめて、問診を中心に全身状態まで把握していく。口腔内は視診、触診、エックス線審査で十分調べてインプラントの適、不適を判定する。インプラントが可能だと判定したら、さらにステントを利用して綿密なエックス線審査をすすめていく。最終補綴物まで想定して患者さんの希望を実現できるように努力する。

このようなトータルな知識の集積はこのセミナーでがんばったから獲得できたのだと思います。インプラント全般を、確かな知識を基礎にした学問として学ぶには最適なセミナーコースだと思います。業者のセミナーは新しい知識や情報としては有用だと思われませんが全体を学ぶには適していないと考えられます。またいい先輩や仲間を得たことを人生の喜びと感じています。





インプラント研究会の今後への期待

大阪口腔インプラント研究会

藤本 佳之

私が実際にインプラント治療を始めたのは大阪厚生年金病院へ来てからです。本院へ赴任した年(平成14年)に大阪口腔インプラント研修セミナー第9期生としてセミナーを受講させていただきました。

現在の研究会の活動としては、定期的な例会があり、研修施設を併設していますので研修セミナーがあります。研究会内の各活動の位置づけとしては、入門用として研修セミナーがあり、アドバンスとして例会があり、高位レベルとして総会の特別講演があるのかなと勝手に考えています。

例会での質疑応答は相変わらず活発(激しい)ですし、年4回の総会・例会をこなして活動を継続しており、会員数も増え、研究会はますます発展してゆきつつあるかと思います。ただし、その中で問題がないわけでもないと考えます。一つは会員数が伸びているにも拘わらず例会への出席者数があまり増えていかないことであり、もう一つは研究会の退会者が毎年何名かおられることです。例会出席者の顔ぶれも毎回同じようなメンバーとなっており、退会者が少なくないことも合わせて、会員のニーズに例会が必ずしも合っていない表れかとも思われ、研究会が会員にとって利用価値の高い存在になることが望まれます。例会でわざわざ大阪厚生年金病院へまで来てもらうには例会数を減らしてでも内容を濃く、多くの会員が興味をもてるテーマをとりあげる、あるいは著明な講演者を毎回呼ぶな

どの改善が必要かと思えます。

大阪口腔インプラント研究会創設時はインプラント治療の熟練者が集ったようですが、その頃とは違い、今は私も含めてインプラント初心者の割合が増えています。初心者のニーズに応えるには、初心者のためだけの例会が年1回でもあればよいのではと思っています。たとえば様々なトラブルに対する初心者向きの講習会などを企画するのがよいのではないのでしょうか。また、高度な技術を要するような症例ではベテランの先生に植立あるいは骨造成を依頼できるような、会員間の紹介システムもあれば初心者にとっては安心かと思えます。

研究会の社会貢献は例会、セミナーを継続することである程度なされるでしょうが、一歩踏み込んだ情報発信をすることが今後、会に期待されることかと思えます。その1つとして、大阪口腔インプラント研究会の推奨するケース別の治療方針を示すことも出来るのであればよいのではないのでしょうか。確かに、会員によって治療方針は様々であり、その違いを知ることも大変勉強になるのですが、研究会として大まかであっても一定の方向性が打ち出せれば会員にとって有益でかつ心強いと思います。その場合、EBMに基づいた治療方針にすることは、EBMが絶対に正しいとは思わないものの、コンセンサスを得やすい考え方だと思います。この他にも啓蒙的なプロジェクトを考えることが研究会の発展につながるのかと思ひ、期待します。



研究会ホームページの可能性

大阪口腔インプラント研究会

長田 卓央

このたび大阪口腔インプラント研究会が設立20周年を迎えたことを大変うれしく思います。前回の10周年のことを思い起こしますと研究会の発展のめざましさがよくわかります。今後も30周年、40周年と発展していくことを期待しております。

昨年20周年に向けて研究会のホームページを立ち上げました。作成はかなりの時間をかけて行い、繰り返し役員会での評価を受けた上で完成しました。このホームページでは研究会の概要が紹介されており、一般向けの他に歯科医師向けの研修コースの案内や会員向けの会員専用ページまでを備えております。

そこでホームページの利点と可能性についてお知らせしたいと思います。

■ホームページの情報発信能力

現在日本ではインターネットが急速に普及し、多数の方が情報の検索に利用されています。特にマスメディアがあまり取り上げない分野においては書籍などよりも手軽で様々な情報が手に入るため利用される傾向が強まるようです。インプラントは一般の方にとってはまだまだなじみの薄いものなのでこれに当たります。当研究会ではインプラントそのものの説明だけでなく安心してインプラント治療が受けられるためのものとして会員の診療所の紹介もしております。また歯科医師向けの研修コースの案内は近年の受講生の増加のひとつの要因ではないかと思っております。

■情報の即時性

様々な情報をすぐさま皆様にお知らせすることができるという点でもすぐれています。研究会では年に1号研究会誌を発行してまいりましたが、情報の鮮度は場合によっては1年数ヶ月前のものとなることもあり、追加や修正も次号まで出来ませんでした。ホームページでは皆様への様々なお知らせや、会員名簿の変更まで随時行っております。

■利便性

現在会員の皆様の利便性向上のために会員専用の掲示板や、メールアドレスの準備を進めております。また将来的には会員の情報変更をメールで行うことや、会費の納入状況の確認がホームページ上で出来るようにしたいと思います。また他にも構想段階のものもありますが、形に出来た段階で皆様にお知らせしたいと思います。

これからも研究会の発展の一助となるようにホームページの構築をしていきたいと思っております。また皆様の御意見などもお聞かせいただけましたら反映していきたいと思っておりますのでよろしくご願ひ致します。

大阪口腔インプラント研究会HP
<http://www.osaka-implant.com>



大阪口腔インプラント研究会20周年によせて

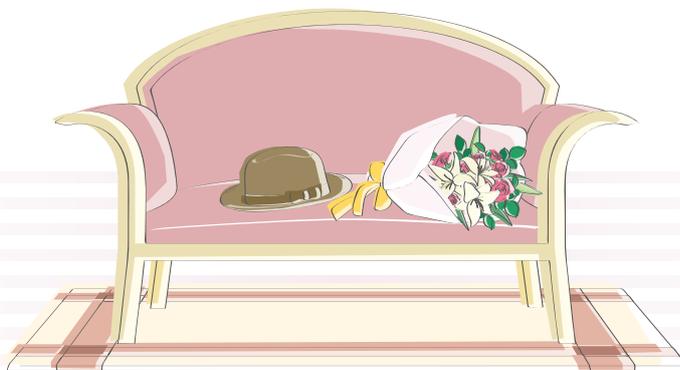
大阪口腔インプラント研究会

木村 正

口腔インプラントの黎明期から研究会発足、発展に寄与された代々の会長並び役員の先生方へ感謝申し上げます。

日本口腔インプラント学会指定研修施設第1号に認定されインプラント治療研鑽の場としての研究会の役割は年々大きくなって来ているとおもわれます。発足時と比較し会員数も増加し特に研修センター修了者のメンバーも多くなりました。インプラント臨床に少しでも携わると多かれ少なかれ疑問を持つことがあると思います。そのとき、商業主義に左右されず、臨床家の素朴な疑問や考察に納得できるまでの白熱の議論、本音の議論、諸先輩方のフランクなアドバイスを受けることができる環境は数少ない研究会であります。

数々の新製品やバイオマテリアル、診断機器が開発され技術も日進月歩であり、研究発表の場、情報収集、技術知識のアップデートに研究会は非常に有意義であります。特に、長年研究会に在籍、ご参加下さっている先生方の長期症例は最近入会された方には温故知新な話題もたくさんあります。国際貢献、国際交流も重要な課題として海外でも講演されている会員の先生方には頭が下がる思いであります。インプラントを真摯に学べる会、インプラントを行う臨床家のナビとなる会。大阪口腔インプラント研究会のメンバーであることが大きなインセンティブとなり、ますます発展できるよう微力ながら努力致したいと思えます。



大阪口腔インプラント研究会
創設 **20**
th anniversary

大阪口腔インプラント研究会誌
1986年第1号～2005年第20号

掲載論文

発刊のことば (1986年創刊号より転載)

大阪口腔インプラント研究会

名誉会長 **阪本 義樹**

近年、口腔インプラントの普及と相俟って、生体親和性のよい素材もつぎつぎ開発され、一般臨床医のインプラント埋入の機会も多くなってきましたが、それぞれの長所と欠点をもちながらも利点のみ強調されるなど、混乱を招いている部分も少なくありません。これに伴って、各地で大小の研究会やスタディグループが設立され、業界誌広告欄を飾る講習会の開催頁も随所に見られるようになりました。

かつて16年前、四面楚歌の中でインプラントを紹介したものとしましては、誠に感慨無量喜ばしき限りであります。これら进行分析してみますと、堅実な立派な研究会もありますが、スタンドプレー的なもの、業者サイドのものなどが入り交り、そのなかには批判の声を聞かされるものさえあります。

理想的な研究会はできないものか、このことを有志の先生方と話し合っていたところ、同じ考えの先生方が以外に多いことを知り、種々検討を重ねた結果、たとえ少人数でも日常歯科医療に真剣かつ前向きに取り組むと共に、今後インプラントの正しいあり方を研究して行こうという先生方と一緒に、インプラントを多角的に考えて行ける研究会にすべく発足したのがこの会であります。

小さくともハイレベルの研究会にするため、

入会に際して多少の制約はありますが、その指向するものは、あくまで臨学一体の形の中で、活発な意見交換のできる会でなくてはなりません。

幸いにして、入会していただいた先生方はいずれも、この会の趣旨を理解された研究熱心な先生ばかりで、これまで各専門分野からの特別講演、シンポジウム、会員発表は盛況裏に経過して参りましたが、これをさらにグレードアップするため、機関紙を発刊することになりました。

乏しい財源のなかでの機関紙発行には多少の障害もあろうかと思いますが、21世紀を指向した高齢者社会における咬合機能の回復のため、その医療技術の中心たり得るインプラントの研究と推進に、大きく貢献できることを祈念して発刊のことばといたします。



インプラントの失敗例から考えられること
 大阪市開業 阪本義樹
 Osaka Oral Implant 2-6 Vol 1 1986.

インプラントと骨移植を併用した骨内インプラントの実験的研究
 松本歯科大学口腔解剖学第2講座教授 鈴木和夫
 Osaka Oral Implant 7-13 Vol 1 1986.

骨内インプラント体の頬舌的な位置づけの重要性
 大阪厚生年金病院歯科 西村敏治
 Osaka Oral Implant 14-16 Vol 1 1986.

酸化アルミナインプラント単独植立と歯牙移植及びフリーデザインインプラント失敗に関する所見
 泉大津市開業 佐藤文夫
 Osaka Oral Implant 17-18 Vol 1 1986.

フリーデザインブレードインプラントを使用し強固な骨植を得るための形態の考案
 大阪市南区開業 福辻 敏
 Osaka Oral Implant 19 Vol 1 1986.

歯内骨内インプラント - 主としてバイオセラムテーパーピンについて -
 住友銀行歯科診療所 岡田周造
 Osaka Oral Implant 20-22 Vol 1 1986.

4種類のインプラントを使用してバイオセラムスクリュー、リンコーブレード、形状記憶合金ブレード、バイオセラム歯内骨内インプラント
 藤井寺市開業 椿本雅宥
 Osaka Oral Implant 23-24 Vol 1 1986.

バイオセラムの歯周治療への応用
 1.歯周外科後の歯牙固定の補助として
 2.MTM(root extrusion) のアンカーとして
 大阪市開業 阿保幸雄
 Osaka Oral Implant 25-26 Vol 1 1986.

バイオセラムTタイプを用いた臨床例
 大阪市東区開業 福田和彦
 Osaka Oral Implant 27-29 Vol 1 1986.

下顎遊離端（対合歯天然歯 - またはブリッジ）症例における金属ブレードインプラント
 泉大津市開業 佐藤文夫
 Osaka Oral Implant 30-31 Vol 1 1986.

下顎遊離端症例におけるバイオセラムインプラント
 東大阪市開業 久保憲昭
 Osaka Oral Implant 32-34 Vol 1 1986.

世界の出来事 1986年 昭和61年

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------|
| 1月 スペースシャトル、チャレンジャー打ち上げ直後に爆発、乗員7名死亡 | 6月 広島カープ衣笠選手2000試合連続出場達成 |
| 4月 ソ連チェルノブイリ原発事故 | 11月 伊豆・大島の三原山が噴火、全島民に避難命令 |
| 5月 英皇太子夫妻来日、ダイアナフィーバー | 12月 ビートたけしら、雑誌フライデー編集部に抗議乱入し逮捕 |

ハイドロキシアパタイトの工学的考察なら
びにその臨床応用
朝日大学歯学部歯科理工学教室
教授 森脇 豊
Osaka Oral Implant 2-4 Vol 2 1987.

形状記憶インプラントの概念
大阪市北区開業 阪本義樹
Osaka Oral Implant 5-7 Vol 2 1987.

ITI インプラント (特にFタイプ・Kタイプ)
を使用した症例について
大阪市生野区開業 金村時友
Osaka Oral Implant 8-9 Vol 2 1987.

私のITIインプラントの臨床
大阪市天王寺区開業 大木政雄
Osaka Oral Implant 10-11 Vol 2 1987.

歯科医療紛争の実態と予防
八尾歯科医師会顧問 岡本欣司
Osaka Oral Implant 12-47 Vol 2 1987.

私のインプラント (バイオセラムインプラント)
東大阪市開業 窪田義夫
Osaka Oral Implant 48-49 Vol 2 1987.

歯科インプラントの臨床的研究
1.遊離端義歯にバイオセラムを用いた臨床的
観察
吹田市開業 須田誠治
Osaka Oral Implant 50-52 Vol 2 1987.

遊離端のインプラントについて
—バイオセラムインプラントのTタイプと骨
補填剤の併用の1症例—
豊中市開業 西田尚道
Osaka Oral Implant 53-54 Vol 2 1987.

無歯顎におけるバイオセラムインプラントの
臨床
大阪市城東区開業 池田 博
Osaka Oral Implant 55-56 Vol 2 1987.

歯科インプラントに関する私見
—特にアパタイトインプラントについて—
神戸市開業 高田勝彦
Osaka Oral Implant 57-59 Vol 2 1987.

骨形成および骨粗鬆症
大阪大学医学部整形外科講師 高岡邦夫
Osaka Oral Implant 60-61 Vol 2 1987.

外傷におけるバイオセラムの応用と補綴
大阪厚生年金病院歯科 大野正光
Osaka Oral Implant 62-64 Vol 2 1987.

各種アパタイトによる歯槽骨欠損吸収の骨造
成の実際
大阪市北区開業 阪本義樹
Osaka Oral Implant 65-76 Vol 2 1987.

口腔外科領域におけるハイドロキシアパタイ
トの使用知見
大阪厚生年金病院歯科 石見隆夫・大野正光・
久保茂正・西村敏治
Osaka Oral Implant 77-79 Vol 2 1987.

世界の出来事 1987年 昭和62年

1月 日本で初の女性エイズ患者認定

3月 アサヒビール、スーパードライ発売

6月 日本の外貨準備高が西独を抜き世界一に

7月 世界の人口50億突破

11月 岡本綾子、全米女子ゴルフ初の外国人賞金王

ジルコニアセラミックを用いた歯科インプラント

岡山大学歯学部口腔病理学講座

教授 永井教之

Osaka Oral Implant 2-8 Vol 3 1988.

インプラント患者の心理

立命館大学心理学講座 教授 斉藤稔正

Osaka Oral Implant 9 Vol 3 1988.

ブローネマルク・システム・インプラント研修会より

泉大津市開業 佐藤文夫

Osaka Oral Implant 10-13 Vol 3 1988.

日常臨床における歯牙移植

大阪市開業 延藤直彌

Osaka Oral Implant 14-15 Vol 3 1988.

骨内インプラント術前における骨質精査方法としてのMD法について

大阪厚生年金病院歯科 久保茂正、大野正光、西村敏治

Osaka Oral Implant 16-21 Vol 3 1988.

全身状態を知る上での基礎的な臨床検査

大阪大学歯学部口腔外科第1講座 井上一男

Osaka Oral Implant 21 Vol 3 1988.

世界の出来事 1988年 昭和63年

2月 カナダ、カルガリー冬季オリンピック

3月 日本初の屋根付き球場「東京ドーム」落成

5月 ソ連アフガニスタンから撤退開始

7月 横須賀港沖で釣船「第一富士丸」が潜水艦「なだしお」と衝突沈没30人死亡

9月 韓国、ソウル夏季オリンピック

私のインプラント臨床 一偶発事故症例一

堺市開業 井上憲一

Osaka Oral Implant 2-11 Vol 4 1989.

私のインプラント

大阪市北区開業 橋本 収

Osaka Oral Implant 11-15 Vol 4 1989.

資料の収集 スライド撮影について

神戸市開業 高田勝彦

Osaka Oral Implant 16-19 Vol 4 1989.

私の臨床 ペリオテストを用いたインプラントへの臨床応用

今治市開業 村上広樹

Osaka Oral Implant 20-29 Vol 4 1989.

歯根膜誘導の可能性を求めて

東京歯科大学病理学第2講座 講師 井上 孝

Osaka Oral Implant 30-35 Vol 4 1989.

根未完成歯の自家移植による歯髄および歯周組織の経年的観察（第一報）

福井市開業 大道昭仁

Osaka Oral Implant 36-1541 Vol 4 1989.

世界の出来事 1989年 平成元年

1月 天皇陛下崩御、年号「平成」に決まる

2月 漫画家、手塚治虫死去

3月 フィギュアスケート、伊藤みどり日本人初の優勝

4月 初の大型間接税、消費税3%実施

4月 WHO長寿世界一は男女とも日本と発表

6月 中国天安門事件

9月 ソニー米映画会社コロムビアを買収

11月 「ベルリンの壁」事実上撤廃

12月 東京歯科大学市川総合病院にて凍結受精卵による
出産初めて成功

Ossointegration—20世紀の奇跡

九州大学歯学部補綴学第2講座
教授 末次恒夫
Osaka Oral Implant 2-8 Vol 5 1990.

私の長期経過症例 バイオセラムTタイプイ

ンプラントを使用して
東大阪市開業 久保憲昭
Osaka Oral Implant 8-14 Vol 5 1990.

医科領域におけるコラーゲンの展望

株式会社高研・バイオサイエンス研究所所長・
北里大学医学部講師 宮田暉夫
Osaka Oral Implant 15-21 Vol 5 1990.

新しく開発したTitanium Making a root for

a Implant (T.M.I.) に関する臨床的研究
大阪市開業 今井元次、谷口浩康、太田博敏、
吉原庸介、河原 茂
日東興業 池山紀之、U.S.A. H.EDWARD.LIU
Osaka Oral Implant 21-24 Vol 5 1990.

私のインプラント

大阪市開業 須田宣之
Osaka Oral Implant 24-28 Vol 5 1990.

医療用チタン材料

株式会社 神戸製鋼所技術開発本部 主任研
究員・工学博士 伊藤喜昌
Osaka Oral Implant 28-33 Vol 5 1990.

生体活性ガラス (SE51) を用いた人工歯根の 開発と臨床応用について

株式会社ニコン 医用材料事業推進室
Osaka Oral Implant 33-36 Vol 5 1990.

歯牙及び代用歯根保存液の分析結果報告

吹田市開業 須田誠治、
神戸市開業 高田勝彦
Osaka Oral Implant 37-62 Vol 5 1990.

世界の出来事 1990年 平成2年

3月 ソ連初代大統領にゴルバチョフ氏就任

9月 初婚年齢は男性28.5歳、女性25.8歳で世界最年長に

6月 ベルー大統領選で日系フジモリ氏当選

10月 統一ドイツ成立

7月 神戸高塚高校で女生徒が門扉に挟まれ死亡

11月 天皇陛下即位の礼

8月 イラク軍クウェートに侵攻、湾岸戦争勃発

新しい概念の臨床的生理咬合、臨床生理咬合
における顎口腔系の診断

大阪大学歯学部歯科補綴学第一講座教授
丸山剛郎

Osaka Oral Implant 2-30 Vol 6 1991.

単独植立

泉大津市開業 佐藤文夫

Osaka Oral Implant 30-33 Vol 6 1991.

バイオセラムポーラスインプラントと自家開
発純チタンスクリーインプラントの単独植
立における臨床経過観察について

吹田市開業 須田誠治

Osaka Oral Implant 33-37 Vol 6 1991.

単独植立症例

大阪市開業 阿保幸雄

Osaka Oral Implant 38-39 Vol 6 1991.

無歯顎症例 総説

大阪市開業 阪本義樹

Osaka Oral Implant 40-43 Vol 6 1991.

無歯顎症例

大阪市開業 阿保幸雄

Osaka Oral Implant 44-45 Vol 6 1991.

世界の出来事 1991年 平成3年

1月 多国籍軍イラク空爆開始

4月 海上自衛隊ペルシャ湾派遣を決定

8月 夏の甲子園初出場の大阪桐蔭が優勝

12月 米国最大の玩具チェーン「トイザラス」日本1号
店茨城県にオープン

咬合の生理

大阪大学歯学部口腔生理学講座 森本俊文
Osaka Academy of Oral Implantology 2-5
Vol 7,8 1992,1993.

UCLAにおけるOsseointegrated Implant
療法の概要

UCLA歯学部口腔顎顔面インプラントセンター
客員準教授 菅井敏郎
Osaka Academy of Oral Implantology 6-9
Vol 7,8 1992,1993.

骨形成の基礎と臨床、硬組織再建の原理

北海道大学歯学部生化学教室教授 久保木芳徳
Osaka Academy of Oral Implantology
10-20 Vol 7,8 1992,1993.

続・各種無歯顎症例 各論

大阪市開業 阪本義樹
Osaka Academy of Oral Implantology
21-29 Vol 7,8 1992,1993.

Key toothに着目したインプラント選択法につ
いて

今治市開業 村上広樹
Osaka Academy of Oral Implantology
30-33 Vol 7,8 1992,1993.

開業医のGTRとインプラント

大阪市開業 須田宣之
Osaka Academy of Oral Implantology
34-37 Vol 7,8 1992,1993.

GTR法による臨床報告

伊丹市開業 石岡一晃
Osaka Academy of Oral Implantology
37-40 Vol 7,8 1992,1993.

一本の歯牙をいかに守るか、その方策を考える

守口市開業 吉田春陽
Osaka Academy of Oral Implantology
41-44 Vol 7,8 1992,1993.

無歯顎症例

箕面市開業 織辺秀也
Osaka Academy of Oral Implantology
44-45 Vol 7,8 1992,1993.

世界の出来事 1992年 平成4年

- | | |
|--|----------------------------|
| 2月 フランス、アルペールビル冬季オリンピック | 3月 新幹線「のぞみ」デビュー、東京-新大阪2時間半 |
| 2月 WHO発表、世界エイズ感染者、成人900万人～ 1100万人、子供100万人 | 3月 日本医師会「尊厳死」を容認 |
| 3月 暴力団対策法試行 | 6月 PKO法案成立 |
| | 7月 スペイン、バルセロナ夏季オリンピック |

世界の出来事 1993年 平成5年

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1月 米第42代大統領にクリントン氏就任 | 6月 皇太子、雅子さま御成婚 |
| 4月 国連ボランティア中田厚仁さんカンボジアで死亡 | 8月 38年ぶり非自民党、細川内閣発足 |
| 5月 サッカーJリーグ開幕 | |

ボーンジェクトについて

株式会社高研 研究所部長 伊藤 博
Osaka Academy of Oral Implantology
2-5 Vol 9 1994.

IMZインプラントの臨床

大阪市開業 阪本貴司
Osaka Academy of Oral Implantology
6-9 Vol 9 1994.

外傷歯の歯内骨内法による治療の長期経過観察

大阪厚生年金病院歯科・高松市開業 山内広茂
Osaka Academy of Oral Implantology
9-12 Vol 9 1994.

私の臨床、歯周治療ならびに骨内インプラント

に応用したGTR症例を中心に
大阪市開業 山田屋孝太郎
Osaka Academy of Oral Implantology
13-20 Vol 9 1994.

初めてのインプラント、カルチテックを使って

吹田市開業 滝本公平
Osaka Academy of Oral Implantology
21-23 Vol 9 1994.

広島大学におけるインプラントの研究と臨床

の現状
広島大学歯学部歯科補綴学第一講座教授
赤川安正
Osaka Academy of Oral Implantology
23-27 Vol 9 1994.

下顎無歯顎に単独植立症例

八尾市開業 大野正光、
大阪厚生年金病院歯科口腔外科部長 西村敏治
Osaka Academy of Oral Implantology
27-30 Vol 9 1994.

臨床写真とスライド作成

大阪市開業 石見隆夫
Osaka Academy of Oral Implantology
30-35 Vol 9 1994.

Screw-Ventインプラントについて

株式会社インプラテックス 北山良計
Osaka Academy of Oral Implantology
35-39 Vol 9 1994.

FINATITE/FINAFIXの開発について

京セラ株式会社バイオセラム事業部 西尾洋一
Osaka Academy of Oral Implantology
40-48 Vol 9 1994.

サイナスリフトについて、種々の材料を用い

ての臨床成績を鑑みて
京都大学医学部口腔外科学教室 別所和久
Osaka Academy of Oral Implantology
49-55 Vol 9 1994.

世界の出来事 1994年 平成6年

1月 男性肺がん死亡率、胃がんを抜いて一位に

2月 初の純国産ロケット「H-2」打ち上げ成功

2月 ノルウェー、リレハンメル冬季オリンピック

8月 初の気象予報士国家試験、合格率18%

9月 初の24時間空港、関西新空港が開港

研究会10年を振り返って
大阪口腔インプラント研究会・会長 阪本義樹
Osaka Academy of Oral Implantology
6-16 Vol 10 1995.

部分欠損症例におけるペリオとインプラント
千里ペリオ・インプラントセンター 貴和会
歯科診療所 小野善弘
Osaka Academy of Oral Implantology
17-30 Vol 10 1995.

インプラントと天然歯との共存、インプラント
周囲のマイクロコスモス
東京歯科大学病理学講座助教授 井上 孝
Osaka Academy of Oral Implantology
31-32 Vol 10 1995.

部分欠損症例におけるインプラントの効果
熊本県本渡市開業 中村社綱
Osaka Academy of Oral Implantology
33-35 Vol 10 1995.

世界の出来事 1995年 平成7年

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1月 阪神・淡路大震災、死者6433人 | 5月 野茂英雄大リーグのオールスターに先発出場 |
| 2月 荻原健司スキー複合W杯で史上初の三連覇 | 7月 PL法、製造物責任法施行 |
| 3月 地下鉄サリン無差別殺人事件 | |

X線CTの利用とインプラント

昭和大学歯科放射線科 岡野友宏
Osaka Academy of Oral Implantology
2-4 Vol 11 1996.

インプラント植立時のレントゲン診断について

大阪厚生年金病院歯科口腔外科 川植康史
Osaka Academy of Oral Implantology
5-10 Vol 11 1996.

バイオインテグレーションインプラントの現在
とその将来、HAP容射型インプラントの問題点

今治市開業 村上広樹
Osaka Academy of Oral Implantology
11-14 Vol 11 1996.

IMZ、Integral、3i 各インプラントの比較検
討、特にアバットメントと上部構造について

東大阪市開業 阪本貴司
Osaka Academy of Oral Implantology
15-20 Vol 11 1996.

ITIインプラント破折部のSEM像

八尾市開業 大野正光
Osaka Academy of Oral Implantology
21-23 Vol 11 1996.

動物実験の失敗例より学んだインプラント周
囲軟組織の重要性

大阪市開業 長谷川敬保
Osaka Academy of Oral Implantology
24-25 Vol 11 1996.

これまでに発表した症例その後の経過

大阪市開業 阪本義樹
Osaka Academy of Oral Implantology
26-34 Vol 11 1996.

顎関節症の基礎とその治療

箕面市開業 赤西正光
Osaka Academy of Oral Implantology
35-39 Vol 11 1996.

アメリカ・サンディエゴ国際インプラントシ
ンポジウムと人体実習（サイナスリフト・
下顎管側方移動術）研修に参加して

泉大津市開業 佐藤文夫
Osaka Academy of Oral Implantology
39-41 Vol 11 1996.

TISSUE GUIDE（吸収性コラーゲン膜）によ
る歯周組織再建

九州開業 児玉俊郎
Osaka Academy of Oral Implantology
42- 51 Vol 11 1996.

ASTRA TECH DENTAL IMPLANTS
SYSTEMについて

横浜市開業 日下部善胤
Osaka Academy of Oral Implantology
52-57 Vol 11 1996.

世界の出来事 1996年 平成8年

2月 北海道余市町で岩盤事故、バスに乗っていた20名
死亡

2月 将棋の羽生善治名人、7冠独占

7月 アメリカ、アトランタ夏季オリンピック

8月 大阪・堺市で病原性大腸菌O-157が猛威

12月 長野県小谷村で土石流、死者14名

12月 ペルーのリマで日本大使公邸が左翼ゲリラに襲撃
され、600人監禁

自家歯牙移植を考慮に入れたトリートメント
プランニング

愛知県海部郡開業 月星光博

Osaka Academy of Oral Implantology
3-13 Vol 12 1997.

細菌性プラークとプラークコントロール

大阪大学歯学部歯科保存学講座 恵比寿繁之

Osaka Academy of Oral Implantology
14-18 Vol 12 1997.

困難な顎補綴の維持にインプラントを用いた
2症例

大阪厚生年金病院歯科口腔外科 内田吉保

Osaka Academy of Oral Implantology
18-22 Vol 12 1997.

インプラント80時間研修セミナーを受講して、

ITI Solid Screw Implant

泉大津市開業 黒田収平

Osaka Academy of Oral Implantology
23-25 Vol 12 1997.

マグネット付アバットメントの既製品と技工
によるものと比較した一症例について

川西市開業 木村正信

Osaka Academy of Oral Implantology
26-27 Vol 12 1997.

多数歯抜歯により著しい顔貌の変化が得られ
た舌側矯正症例

大阪市開業 岩本 浩

Osaka Academy of Oral Implantology
27-32 Vol 12 1997.

世界の出来事 1997年 平成9年

2月 英国でクローン羊ドリー誕生

4月 消費税5%に

4月 長野県諫早湾で大規模な干拓潮止め開始

6月 神戸児童連続殺傷事件で中三男子を逮捕

7月 香港、中国へ返還

8月 ダイアナ英元妃交通事故死

8月 アップル社、マイクロソフト社と提携

9月 マザーテレサ死去

10月 長野新幹線開業

11月 映画「もののけ姫」が興行収入新記録

12月 大型金融機関が相次いで破綻

骨と細胞生物学と口腔インプラント

大阪大学歯学部生化学講座 米田俊之

Osaka Academy of Oral Implantology
3-10 Vol 13 1998.

X線断層撮影装置を利用して、インプラント
術前診査13mmガイドピンを参考に

大阪厚生年金病院 歯科口腔外科 猪木一雄

Osaka Academy of Oral Implantology
10-15 Vol 13 1998.

X線断層撮影装置を利用して、簡便で確実な
骨形成を考慮したガイドピン

(レントゲン使用)の一利用法

泉大津市開業 佐藤文夫

Osaka Academy of Oral Implantology
15-20 Vol 13 1998.

私は今このような理由でこのインプラントを
臨床に取り入れている、ITI

大阪市開業 阿保幸雄

Osaka Academy of Oral Implantology
21-23 Vol 13 1998.

私は今このような理由でこのインプラントを
臨床に取り入れている、ブローネマルク・イ

ンプラント・システム

泉大津市開業 佐藤文夫

Osaka Academy of Oral Implantology
24-27 Vol 13 1998.

インプラントの上部構造、特にネジの締め付
けと弛みについて

大阪大学歯学部付属病院口腔総合診療部

前田芳信

Osaka Academy of Oral Implantology
28-31 Vol 13 1998.

パーシャルデンチャーの可能性と限界、義歯
の設計を変える重合精度

大阪大学歯学部歯科理工学講座 寺岡文雄

Osaka Academy of Oral Implantology
32-43 Vol 13 1998.

プラチンインプラントを上下無歯顎に応用し
た症例

東京都開業 浦口昌秀

Osaka Academy of Oral Implantology
44-47 Vol 13 1998.

世界の出来事 1998年 平成10年

2月 冬季オリンピック、長野大会開催

7月 和歌山で毒入りカレー事件発生

3月 山一證券101年の歴史に幕、全店閉鎖

8月 北朝鮮「テポドン1号」発射

6月 性的不能治療薬「バイアグラ」の個人輸入が
ブームに

10月 プロ野球横浜が38年ぶりに日本一に

顎骨をめぐる微小循環

ドラマチックミクロ世界へようこそ、歯周組織の微小循環

神奈川歯科大学歯学部口腔解剖学教室

高橋和人

Osaka Academy of Oral Implantology

2-21 Vol 14 1999.

上顎前歯部1歯欠損に単独植立を行なった一例、

矯正治療・GBR法を併用して

大阪市開業 山田屋孝太郎

Osaka Academy of Oral Implantology

22-26 Vol. 14 1999.

上顎無口蓋義歯と下顎Rigid Dentureを使用した歯周補綴症例

神戸市・高田歯科勤務 米澤大地

Osaka Academy of Oral Implantology

22-30. Vol 14 1999.

通院治療によって治癒した歯性上顎洞炎の5症例

大阪市開業 大阪歯科大学口腔外科 阪本貴司

Osaka Academy of Oral Implantology

31-35. Vol 14 1999.

天然歯と連結した歯科用インプラントとインプラント体同士の連結との2年後の比較

堺市開業 奥田謙一

Osaka Academy of Oral Implantology

35-39. Vol 14 1999.

上部構造装着後1年以上経過した3症例について

堺市開業 白井敏彦

Osaka Academy of Oral Implantology

39-42. Vol 14 1999.

血液細胞分析について、歯科疾患へのLive Blood Analysisの応用

泉大津市開業 黒田収平

Osaka Academy of Oral Implantology

42-44. Vol 14 1999.

インプラント表面処理の現状

大阪市開業 阪本義樹

Osaka Academy of Oral Implantology

44-53. Vol 14 1999.

世界の出来事 1999年 平成11年

4月 大阪ホテルプラザ解散

11月 ソニー創業者、盛田昭夫氏死去

9月 東海村の核燃料施設で臨界事故、150人が被曝

12月 パナマ運河、マカオ返還

10月 ノーベル平和賞に「国境なき医師団」

12月 サントリー-佐治敬三氏死去

ティッシュエンジニアリング研究の現状と歯科医療

名古屋大学大学院医学研究科
頭頸部・感覚器外科学講座 上田 実
Osaka Academy of Oral Implantology
2-6. Vol 15 2000.

埋入から撤去まで長期管理したインプラント
43本の検討

大阪市開業 阪本貴司
Osaka Academy of Oral Implantology
7-13. Vol 15 2000.

症例報告、第一部審美性の回復を目指して、
第二部ペリオ、インプラントを含んだ補綴処置

大阪市開業 須田宜之
Osaka Academy of Oral Implantology
14-21. Vol 15 2000.

当院におけるインプラント治療について、
バイオセラムから断層撮影、抜歯直後GBRへ

大阪市開業 市原 聡
Osaka Academy of Oral Implantology
22-26. Vol 15 2000.

インプラントに加わる咀嚼・咬合圧に対応した
海綿骨、臨床症例X線画像より見たインプラント
周囲海綿骨骨梁の観察

泉大津市開業 佐藤文夫
Osaka Academy of Oral Implantology
27-30. Vol 15 2000.

世界の出来事 2000年 平成12年

3月 ロシア大統領にプーチン氏

3月 北海道 有珠山噴火

4月 公的介護保険制度スタート

5月 コンピューターウイルス「I Love You」世界拡散

5月 ストーカー規制法成立

6月 皇太后良子様御逝去

6月 雪印乳業中毒事件

7月 そごうグループ倒産

7月 2000円札デビュー

9月 オーストラリア、シドニー夏季オリンピック

11月 オーストラリア、アルプスでケーブルカー火災
155人死亡

顎骨延長術の歯科治療への応用
香川県立中央病院歯科口腔外科
主任部長 三次正春
Osaka Academy of Oral Implantology
2-12. Vol 16 2001.

各種インプラントシステムに対する私見、3i
インプラントシステム
神戸市開業 高田勝彦
Osaka Academy of Oral Implantology
13. Vol 16 2001.

各種インプラントシステムに対する私見、ブ
ローネマルク・システム
泉大津市開業 佐藤文夫
Osaka Academy of Oral Implantology
14-18. Vol 16 2001.

各種インプラントシステムに対する私見、IMZ
インプラントシステムについて
大阪市開業 阪本貴司
Osaka Academy of Oral Implantology
19-25. Vol 16 2001.

新しい再生材料PRPを用いた骨増生の臨床経
過報告
神戸市開業 高田勝彦、
大阪大学付属病院 口腔病理診断部 助教授
石田 武
Osaka Academy of Oral Implantology
26-31. Vol 16 2001.

ペリオとインプラント
高石市開業 中島 康
Osaka Academy of Oral Implantology
32-35. Vol 16 2001.

当院におけるITIインプラントの臨床
宝塚市開業 山野総一郎
Osaka Academy of Oral Implantology
36-42. Vol 16 2001.

世界の出来事 2001年 平成13年

- | | |
|--|---------------------------------|
| 1月 アメリカ大統領にブッシュ就任 | 9月 新宿歌舞伎町雑居ビル火災44人死亡 |
| 2月 宇和島水産高校実習船「えひめ丸」がハワイ・オアフ島 沖で米原子力潜水艦と衝突し、沈没 | 9月 アメリカで同時多発テロ、世界貿易センター ビル倒壊 |
| 4月 小泉純一郎新内閣発足 | 9月 国内初の狂牛病認定 |
| 6月 大阪教育大付属池田小学校に男が乱入、児童を刺殺 | 10月 アメリカアフガニスタンを報復攻撃 |
| 7月 兵庫県、明石市花火大会で見物客が将棋倒し | 12月 雅子様女児ご出産、敬宮(としのみや)愛子様 |

塩基性線維芽細胞増殖因子 (bFGF) を用いた
歯周組織再生療法

大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制
御学講座 教授 村上伸也

Osaka Academy of Oral Implantology
2-5, Vol 17 2002.

重度歯周炎に対するインプラント治療

大阪府高石市開業 中島 康

Osaka Academy of Oral Implantology
6-7, Vol 17 2002.

日常臨床における自家歯牙移植の導入

堺市開業 白井敏彦

Osaka Academy of Oral Implantology
8-13, Vol 17 2002.

ブリッジの支台歯としてインプラントを利用
した症例にみられた天然歯の圧下、その11年
に渡る経過

大阪市開業 山田屋孝太郎

Osaka Academy of Oral Implantology
14-17, Vol 17 2002.

世界の出来事 2002年 平成14年

2月 アメリカ、ソルトレーク冬季オリンピック

3月 ダイエー、産業再生法申請

5月 サッカーワールドカップ、日韓合同開催

9月 大阪ミナミの中座炎上、法善寺横丁も延焼

9月 日朝首脳会談、平壤で初会談

10月 北朝鮮から拉致被害者5人が帰国

10月 バリ島で爆弾テロ

11月 日経平均株価、バブル後最安値8303円39銭

12月 ノーベル化学賞を田中耕一氏、物理学賞を小柴昌
俊氏が受賞

インプラント上部構造装着時期、骨と血管の
新生からみた

大阪歯科大学 解剖学講座 教授 諏訪文彦
Osaka Academy of Oral Implantology
2-8. Vol 18 2003.

サイナスリフトの臨床

藤枝市立総合病院歯科口腔外科 澤 裕一郎
Osaka Academy of Oral Implantology
9-15. Vol 18 2003.

根尖病巣を有する歯牙抜歯直後のインプラン
ト埋入に関する観察、雑種成犬下顎骨

泉大津市開業 佐藤文夫、大阪市開業 阪本義樹、
松本歯科大学 鈴木和夫
Osaka Academy of Oral Implantology
16-20. Vol 18 2003.

サイナスリフトにおける新術式を用いた症例、
歯槽頂上顎洞内穿孔術

神戸市開業 高田勝彦
Osaka Academy of Oral Implantology
21-24. Vol 18 2003.

インプラント100時間セミナー受講生に対す
るアンケート調査

阪本貴司、佐藤文夫、藤本佳之、耕田英樹、
石見隆夫、川本真奈美、内田吉保、阪本義樹、
西村敏治
Osaka Academy of Oral Implantology
25-28. Vol 18 2003.

世界の出来事 2003年 平成15年

3月 米英軍、イラクと開戦

4月 SARS（重症急性呼吸器症候群）が流行

7月 スペイン、バルセロナ世界水泳選手権で北島
康介選手200M平泳ぎで世界記録で優勝

9月 十勝沖地震 重傷者500人超す

10月 阪神タイガース18年ぶりに優勝

12月 米国で初のBSE感染牛が確認され、米国産
牛肉の輸入停止

東洋医学のインプラントへの応用

和泉市開業 久保茂正

Osaka Academy of Oral Implantology
2-17, Vol 19 2004.

GTR・GBRの基礎と臨床

大阪市開業 阪本貴司

Osaka Academy of Oral Implantology
18-30, Vol 19 2004.

高齢者の審美領域におけるインプラント埋入症例

大阪市開業 阿保淳一

Osaka Academy of Oral Implantology
31-34, Vol 19 2004.

私の日常臨床、インプラントスクリューの破折を含む

箕面市開業 織邊秀也

Osaka Academy of Oral Implantology
35-38, Vol 19 2004.

広汎性早期発症型歯周炎を疑った1症例

守口市 吉田歯科 藤森靖史

Osaka Academy of Oral Implantology
39-44, Vol 19 2004.

左右に二回法および一回法インプラントを埋入した症例の経過とその評価

大阪市開業 西川和章

Osaka Academy of Oral Implantology
45-50, Vol 19 2004.

私の臨床

吹田市開業 前場一輝

Osaka Academy of Oral Implantology
51-61, Vol 19 2004.

世界の出来事 2004年 平成16年

1月 山口県養鶏場で鶏インフルエンザ発覚

2月 自衛隊イラクへ派遣

5月 イラクで邦人2人が銃撃され死亡

6月 長崎県佐世保の小学校で小学校6年女児が同級生にカッターで切られ死亡

8月 ギリシャ、アテネ夏季オリンピック

10月 大リーグでイチローが年間262安打達成

10月 新潟中越地震

11月 新紙幣発行（1万円、5千円、千円）

12月 スマトラ沖でM9の地震

最近の歯周治療とインプラント治療の傾向について

福岡市開業 船越栄次

Osaka Academy of Oral Implantology

2-10, Vol 20 2005.

私の臨床における3DXの効果

東京都千代田区開業 武田孝之

Osaka Academy of Oral Implantology

11-17, Vol 20 2005.

英保歯科・矯正歯科におけるインプラント補綴症例の臨床的検討

兵庫県三田市開業・岡山大学歯学部非常勤講師

英保裕和

Osaka Academy of Oral Implantology

18-22, Vol 20 2005.

世界の出来事 2005年 平成17年

- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 4月 尼崎市でJR福知山線脱線事故 | 10月 千葉ロッテ31年ぶりに日本一 |
| 4月 ローマ法王ヨハネ・パウロ2世死去 | 11月 清子さまご結婚 |
| 5月 プロ野球セ・パ交流戦スタート | 11月 姉歯建築士によるマンション耐震強度偽装問題発覚 |
| 6月 ワールドカップ・ドイツ大会に日本3大会連続出場 | 12月 米国産牛肉の輸入再開 |
| 7月 ロンドンで同時多発テロ | 12月 JR羽越線、特急電車脱線転覆事故 |
| 9月 衆議院選挙で小泉自民党圧勝 | |

世界の出来事 2006年 平成18年

- | |
|---------------------------|
| 1月 ライブドア堀江社長逮捕 |
| 1月 米国産牛肉の危険物混入発覚で再び輸入全面停止 |
| 2月 イタリア、トリノ冬季オリンピック |



日韓口腔インプラント学術交流会

大阪口腔インプラント研究会

阪本 貴司

2001年、大阪口腔インプラント研究会と韓国国際インプラント学会との日韓学術交流会がスタートした。当時、韓国国際学会会長であった金鴻基先生から、古くから交流のあった阪本義樹名誉会長へ定期学術交流を行いたいとの打診があり、以後毎年開催されることになった。

2001年12月15日、第1回日韓口腔インプラント学術交流会が韓国のソウル市で開催され、日本より阪本義樹名誉会長、佐藤文夫会長、西村敏治先生、高田勝彦先生、山野総一郎先生、長田卓央先生の6名が参加しました。高田勝彦先生が「新しい再生材料PRPを用いた骨増生の臨床経過報告」と題し、当時日本でも注目された最新術式について講演し、記念すべき第1回の交流会が始まりました。

第2回交流会は、次の年に日本へ韓国側の先生を招待し、大阪のホテル“アウィーナ大阪”にて開催されました。当会からは、内田吉保先生が「骨移植など外科処置を併用したインプラント治療例」、中島康先生が「重度歯周炎に対するインプラント治療例」について講演されました。ソウルで開催された第1回と違い、招待する側の緊張と準備で大変であったのを記憶しています。特に韓国側の先生の名前と読み方、宿泊準備にも苦労しました。韓国ではご夫婦でも名字が違うため、席次など困ったことも多かったと記憶しています。

第3回が開催された2003年は、再びソウル市で開催され、佐藤文夫会長、西村敏治先生、福西啓八先生、川植康史先生、私の5名が参加し、同時開催された韓国インプラント学会10周年記念会にて、西村敏治先生が「Reflection on my 25-year experience in clinical implantology」と題して特別講演されました。また、佐藤文夫先生が「Examination of implant placement in lesions of jaw immediately after the extraction of teeth with periapical lesions」と題して、また川植康史先生が「Utilization of CT for dental implants」について、そして私は、「Clinical cases of implants with GBR technique」について発表させていただきました。

第4回は、2年前と同じくホテル“アウィーナ大阪”にて開催されました。当会からは、山野総一郎先生が「部分欠損症例におけるインプラント臨床」、黒田収平先生が「6種類の金属粉が骨芽様細胞に及ぼす影響」について講演されました。交流会も回を重ねるうちに会員同士の緊張も徐々に解け、若い先生同士がグラス片手に談笑したり、一緒にカラオケを歌う風景も見られました。始めは和やかだった懇親会の席上が活気をおびてきたのもこの頃からだったような気がします。

2005年には、第5回の交流会が6月18日にソウル市にて開催されました。日本からは、阪本義樹名誉会長、佐藤文夫会長、西村敏治先生、高田勝彦先生、奥田謙一先生、西川和章先生、そして私の7名が参加しました。特別講演では、高田勝彦先生が「工学的治療から生物学的治療へ」と題し講演されました。西川和章先生は、「インプラントの症例とその経過」を、私は「垂直的骨造成の限界」について講演しました。

私自身、ソウル市での講演は2回目となりましたが、韓国の若い先生の熱意と学び取ろうとする意欲には、日本の若い先生に負けないエネルギーを感じました。韓国はまさにインプラント埋入ブームです。そのためか、歯周治療を含め周辺組織への関心は、まだ日本より少ないように感じました。

2006年5月の本会の創立20周年学術講演会では、6回目を迎えた日韓学術交流会が同時開催されました。本交流会の韓国側の最大の功労者である金鴻基先生に、盟友である阪本義樹名誉会長から感謝状が手渡されました。また、韓国側の若手のリーダーであり、毎年の交流会では自らの発表と共に通訳や来賓の送り迎えなど、1人で3役や4役も熟していただいた金賢哲先生にも感謝状が手渡されました。

日韓学術交流会の基本となるのは、会員の学術知識と臨床経験の相互交換だと思います。

日本へ来て頂いた韓国の先生方には、日本のすばらしい臨床技術を見て頂きたいですし、我々も韓国の先生方の技術と経験を学びたいと思います。

今後も日韓学術交流会が会員相互の学識の情報交換の場として、続いて行くことを祈念しています。



第1回交流会 2001年12月
金鴻基先生のクリニックにて
(左側より佐藤、西村、金鴻基、阪本義、高田、山野、長田)



2001年12月 ソウル市にて



第3回交流会 2003年11月
学会会場ソウル大学附属病院



第3回交流会
(左側より川植、福西、西村、金鴻基、佐藤、阪本貴)



第3回交流会 2003年11月
西村会長へ感謝状が渡されました



会場にて金鴻基先生と



第5回交流会 ソウルにて 2006年5月
(左側3人目より奥田、西村、金鴻基、高田、阪本義、佐藤、金賢哲、阪本貴、西川)



インプラント研修セミナーに想う

社団法人 日本口腔インプラント学会指定インプラント研修施設

施設長 **西村 敏治**

日本口腔インプラント学会は'93年に臨床医がインプラントを研修できる場として、全国のスタディグループの中で、活発な学会活動の業績のあるリーダー格の者が、複数いる所で、かつ実習設備も用意できる施設を「学会指定の研修施設」と認可する制度をスタートさせた。

本研究会の役員会でこのことを討議した時、本研究会が、この研修施設になることが望ましいことか否か大きく意見が分かれた。「ほんねの勉強会」として、定期的に行われ軌道に乗っている時、「認定医・指導医」制度に関わることは「差別化」を生み自分たちは嫌うところだ!との明確な反対意見も少なからずあったが、あの時点で大学がインプラントに対し、全く教育をしていないゆえに、インプラント学会がその移行期の制度として次善の策としてこの制度を整えてゆきたい、との熱い思いが学会幹部にあった。日本のインプラントのパイオニアの立場の阪本義樹先生も学会の中核メンバーでもあり、この際将来を見越して大阪口腔インプラント研究会が、研修施設として申請してみよう!と決断された。施設会場として、大阪厚生年金病院を、ということで私が手続きを始めた。研究業績として、阪本義樹、佐藤文夫、西村敏治、石見隆夫らが、これまで学会発表したものを業績表として、他に病院施設の内容、病院長の公認許可の公印、等々を添えて、兎に角、申請することにした。全国から相当数が申請されたが、数施設のみが「学会指定の研修施設」として認可された。

認可されてから、セミナーの開講について再度、研究会の役員会で討議が重ねられた。認可されたからには、学会素案の内容の100時間セミナーを開催したい意向の役員と慎重論の役員が、意見を戦わせることとなった。

学会で示された100時間セミナーの内容、講師資格、講師謝礼の額、受講料の上限、定員15名内、等々のワク内で、まづ広告料等すべて出費よりスタートし、採算とれるのか確かさはなかった。

第1期生・15名のセミナー終了時、他の施設はいまだ準備中であつた。大阪の成功をみて、次年度より追随したり、新たな研修施設が申請されたりした。大阪口腔インプラント研修セミナーが結果的に先導役を果たしたといえよう。制度発足後、時間数、内容、定員枠等に変更、改訂等あつた。

今年14期生・18名を迎えるが、ふり返って感慨深いものがある。



豚骨実習1994年7月
(セミナー第1期生)



症例検討会1996年
(セミナー第3期生)



模型へのインプラント埋入実習
(セミナー第12期生)



豚骨実習
(セミナー第12期生)



大阪口腔インプラント研究会主催 100時間インプラントセミナー 第13期生
2006.3.18~2006.9.24



認定医取得セミナーを受講して

大阪口腔インプラント研究会

西川 和章

私は大阪口腔インプラント研究会の第11期認定医取得セミナーを受講しました。以前から自分なりに勉強し、インプラントを臨床に取り入れていましたが、基礎から臨床まで一貫して勉強したのは今回が初めてでした。単発の講習会との大きな違いは、高度なテクニックも基礎知識の裏付けに基づいた説明がなされること、インプラントに必要な知識やテクニックが総て網羅されたカリキュラムであることだと思います。従って、セミナーの内容をマスターすれば相当レベルの高いインプラント治療が可能ですし、オペ中に遭遇する色々な緊急事態にも対処するだけの実力を得ることが出来ると思います。私自身、不足していた知識の補充、疑問に思っていたことの解明、色々なテクニックの伝授などを行っていただき非常に有益な講習会となりました。同期の受講生も各方面で活躍しておられる方や、遠方から飛行機で受講される方も数多く見受けられました。また、私がかつてインプラントの講習を受けた講師が以前このセミナーの受講生だったと言うのを聞いて、このセミナーのレベルの高さを感じました。他にこのセミナーの良いところは単に知識やテクニックを教えるだけに終わらず、講師の先生や受講生との横の関係を大切にしていることだと思います。そのため、講習期間中に懇親会が開かれ、多くの先生と打ち解けた関係の中でセミナーでは得られない情報交換も行うことができました。このセミナーを受講した人は、自動的に1年間、大阪口腔インプラント研究会の会員になり、難ケースの相談やインプラント関連の情報を得たりすることができますので、終了後のフォローも非常に親切な研究会だと思いました。



大阪口腔インプラント研修セミナー 100時間コースを受講して

大阪口腔インプラント研究会

白井 敏彦

私が大阪口腔インプラント研修会の100時間コースを受講したのは第4期になります。当時の私は町の開業医として、歯科に対する知識も技術も不足していました。このままではいけないとは漠然と感じていたのですが、本来のさぼり癖が抜けずに、また、かといって生活に困るわけでもなかったので適当という表現が正しいかどうかはわかりませんが、流されるように過ごしていました。そんなある日、クインテッセンスで100時間コースの広告を目にしました。“インプラントできたらかっこよさそうやし、一回行ってみよか。”というのが最初の動機だったと記憶しています。当時は阪本義樹先生が会長で、非常にはきはきとした口調で講義されていたのを覚えています。また、サブペリヤブレードタイプのインプラントの講義も組み込まれていました。講習会の初日、懇親会があったのですが、その席で他の受講生の先生がアパートメントの話がされていました。実は当時、私はアパートメントがなんであるかさえ知りませんでした。このとき初めて自分の知識のなさは相当のものであると思い知らされました。それから、まず家で本を読もうとしたのですが、すぐに眠くなるのに気づきやっぱりこれではだめだということで、いろいろな講習会に参加するようになりました。以来、ペリオ、補綴、咬合、エンド、総義歯、矯正、予防、マイクロスコープ、そしてインプラントと色々なセミナーに行きました。おかげでクイントなどに書かれている内容はある程度理解できるようになったのですが、懐のほうはだいぶ寂しくなりました。大阪口腔インプラント研究会ができて、今年で20年になるそうですが、私が少しでも勉強するきっかけを作ってくれたこの研究会、そして100時間コースには大変感謝しております。

特別講演

招待講演

教育講演

一般講演

研究例会

1986年4月～2005年3月

講演 & 発表

インプラントの失敗例から考えられること
大阪市開業 阪本義樹
設立記念講演
S61年5月18日 パーマリィ・インホテル

各種インプラントに関する組織構造、特に形態材料
方面からのアプローチ
松本歯科大学口腔解剖学第2講座教授 鈴木和夫
特別講演
S61年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

骨内インプラント体の頬舌的な位置づけの重要性
大阪厚生年金病院歯科 西村敏治
一般講演
S61年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

酸化アルミナインプラント単独植立と歯牙移植及び
フリーデザインインプラント失敗に関する所見
泉大津市開業 佐藤文夫
一般講演
S61年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

フリーデザインブレードインプラントを使用し強固
な骨植を得るための形態の考案
大阪市南区開業 福辻 敏
一般講演
S61年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

歯内骨内インプラントー主としてバイオセラムテーパ
ーピンについてー
住友銀行歯科診療所 岡田周造
一般講演
S61年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

4種類のインプラントを使用して
バイオセラムスクリュー、リンコーブレード、形状記
憶合金ブレード、バイオセラム歯内骨内インプラント
藤井寺市開業 椿本雅宥
一般講演
S61年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントの歯周治療への応用
大阪市開業 阿保幸雄
一般講演
S61年11月29日 大阪厚生年金病院会議室



1986年5月
発足時の設立総会が開催された
パーマリィ・インホテル（大阪市北区）



発足時の例会場
この小さな宴会場に椅子を置き、
正面にスクリーンを立て講演会場とした



1986年5月18日
設立総会記念パーティー会場となった
サロンドロースト

バイオセラムTタイプインプラントの臨床

大阪市東区開業 福田和彦

一般講演

S62年2月12日 大阪厚生年金病院会議室

下顎遊離端症例における金属ブレードインプラント

泉大津市開業 佐藤文夫

シンポジウム 各種インプラントの比較

S62年2月12日 大阪厚生年金病院会議室

下顎遊離端症例におけるバイオセラムインプラント

東大阪市開業 久保憲昭

シンポジウム 各種インプラントの比較

S62年2月12日 大阪厚生年金病院会議室

国内外の学会を通じてみたインプラントの現状

研究会会長 阪本義樹

特別講演

S62年5月9日 ホテルサンホワイト

ハイドロキシアパタイトの理工学的考察と今後の

臨床応用

朝日大学歯学部歯科理工学教室 教授 森脇 豊

特別講演

S62年5月9日 ホテルサンホワイト

形状記憶合金インプラントの特徴

大阪市北区開業 阪本義樹

シンポジウム 形状記憶合金インプラント

S62年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

形状記憶合金インプラントの臨床

東成区開業 曾我直夫

シンポジウム 形状記憶合金インプラント

S62年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

ITI インプラント（特にFタイプ・Kタイプ）を

用した症例について

大阪市生野区開業 金村時友

シンポジウム ITI インプラント

S62年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

私のITIインプラントの臨床

大阪市天王寺区開業 大木政雄

シンポジウム ITI インプラント

S62年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

歯科医療紛争の実態と予防 -特にインプラント
をめぐって-

八尾歯科医師会顧問 岡本欣司

特別講演

S62年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

バイオセラムインプラント臨床における経過観察

東大阪市開業 窪田義夫

一般講演

S62年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

遊離端欠損におけるインプラント義歯（バイオセ
ラム）の臨床的観察

吹田市開業 須田誠治

一般講演

S62年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

遊離端のインプラント

豊中市開業 西田尚道

一般講演

S62年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

無歯顎におけるバイオセラムインプラントの臨床

大阪市城東区開業 池田 博

一般講演

S62年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

最近のインプラントに関する私見 -特にアパ
タイトインプラントについて-

神戸市開業 高田勝彦

一般講演

S62年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

骨形成および骨粗鬆症

大阪大学医学部整形外科講師 高岡邦夫

特別講演

S63年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

外傷におけるバイオセラムの応用と補綴

大阪厚生年金病院歯科 大野正光

一般講演

S63年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

ハイドロキシアパタイトの概念

大阪市北区開業 阪本義樹

ハイドロキシアパタイト特集

S63年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

ハイドロキシアパタイトの臨床について
 大阪市開業 曾我直夫
 ハイドロキシアパタイト特集
 S63年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

ハイドロキシアパタイトの歯周病への応用
 大阪市開業 阿保幸雄
 ハイドロキシアパタイト特集
 S63年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

口腔外科領域におけるハイドロキシアパタイト
 大阪厚生年金病院歯科 石見隆夫
 ハイドロキシアパタイト特集
 S63年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

歯科医インプラントを成功に導くファクター
 岡山大学歯学部口腔病理学講座 教授 永井教之
 特別講演
 S63年5月28日 大阪第一ホテル

インプラント患者の心理
 立命館大学心理学講座 教授 斉藤稔正
 特別講演
 S63年9月24日 大阪厚生年金病院会議室

ITIヨーロッパ研修より
 大阪厚生年金病院歯科 西村敏治、
 大阪市開業 阿保幸雄
 一般講演
 S63年9月24日 大阪厚生年金病院会議室

Osseointegrated implant研修より
 泉大津市開業 佐藤文夫
 一般講演
 S63年9月24日 大阪厚生年金病院会議室

日常臨床における歯牙移植
 大阪市開業 延藤直彌
 一般講演
 S63年12月11日 大阪厚生年金病院会議室

エドランメーチャー法について
 大阪市開業 村井敏人
 一般講演
 S63年12月11日 大阪厚生年金病院会議室

インプラント患者の骨質の検討（MD法による中
 手骨によって）
 大阪厚生年金病院歯科 久保茂正
 一般講演
 S63年12月11日 大阪厚生年金病院会議室

米国インプラント界の現状
 大阪市開業 阪本義樹
 一般講演
 S63年12月11日 大阪厚生年金病院会議室

全身状態を知る上での基礎的な臨床検査
 大阪大学歯学部口腔外科第1講座 井上一男
 特別講演
 平成元年3月5日 大阪厚生年金病院会議室

医療用チタン材料の現状
 株式会社神戸製鋼所技術開発本部主任研究員・工
 学博士 伊藤喜昌
 特別講演
 平成元年5月28日 大阪梅田レストランパレス

大学病院で観察されたインプラント各種失敗症例
 について
 日本大学歯学部総合診療室講師 藤尾 昭
 特別講演
 平成元年5月28日 大阪梅田レストランパレス

私のインプラント臨床
 堺市開業 井上憲一
 一般講演
 平成元年8月27日 大阪厚生年金病院会議室

私のインプラント臨床
 大阪市開業 尾上好申
 一般講演
 平成元年8月27日 大阪厚生年金病院会議室

私のインプラント臨床
 大阪市開業 山田屋孝太郎
 一般講演
 平成元年8月27日 大阪厚生年金病院会議室

私のインプラント臨床

大阪市北区開業 橋本 収

一般講演

平成元年8月27日 大阪厚生年金病院会議室

当病院の滅菌システムについて

大阪厚生年金病院 西村敏治

一般講演

平成元年11月19日 大阪厚生年金病院会議室

資料の収集 スライド撮影について

神戸市開業 高田勝彦

一般講演

平成元年11月19日 大阪厚生年金病院会議室

私の臨床

今治市開業 村上広樹

一般講演

平成元年11月19日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントとその適応症

住友銀行健康管理センター歯科 嶋谷雅博

一般講演

平成元年11月19日 大阪厚生年金病院会議室

歯根膜誘導の可能性を求めて

東京歯科大学病理学第2講座 講師 井上 孝

特別講演

平成2年2月25日 大阪厚生年金病院会議室

IMZインプラント植立と上部構造

守口市開業 吉田春陽

一般講演

平成2年2月25日 大阪厚生年金病院会議室

ブリッジの支台に使用した生活移植歯

福井市開業 大道昭仁

一般講演

平成2年2月25日 大阪厚生年金病院会議室

補綴から見たインプラントの流れ

九州大学歯学部補綴学第2講座 教授 末次恒夫

特別講演

平成2年6月10日 大阪第一ホテル

インプラントと私の臨床

泉佐野市開業 岡村親一郎

一般講演

平成2年9月2日 大阪厚生年金病院会議室

アンケート結果と今後の研究会活動

大阪市開業 山田屋孝太郎

一般講演

平成2年9月2日 大阪厚生年金病院会議室

骨膜下インプラントの実際

大阪開業 阪本義樹

特別講演

平成2年9月2日 大阪厚生年金病院会議室

私の長期経過症例 バイオセラムスクリューを使用
して

西宮市開業 北川純一

一般講演

平成2年11月25日 大阪厚生年金病院看護学校講義室

私の長期経過症例

堺市開業 井上憲一

一般講演

平成2年11月25日 大阪厚生年金病院看護学校講義室

私の長期経過症例 バイオセラムTタイプインプラ
ントを使用して

東大阪市開業 久保憲昭

一般講演

平成2年11月25日 大阪厚生年金病院看護学校講義室

1990年6月
阪本義樹初代会長

スミシコン周囲組織の反応について
 松本歯科大学 口腔解剖学教室 教授 鈴木和夫
 招待講演
 平成2年11月25日 大阪厚生年金病院看護学校講義室

バイオマテリアルとしてのコラーゲン
 株式会社高研・バイオサイエンス研究所所長・北
 里大学医学部講師 宮田暉夫
 招待講演
 平成3年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

T.M.I.(Titanium Making a root for a Implant)
 の上顎への応用
 大阪市開業 今井元次
 一般講演
 平成3年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

私のインプラント臨床
 大阪市開業 須田宣之
 一般講演
 平成3年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

大阪口腔インプラント研究会 臨床研修システム
 について
 泉大津市開業 佐藤文夫
 一般講演
 平成3年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

歯を抜いて歯を助ける方法、歯牙移植療法の理論
 と実際
 浮舟 宣武
 一般講演
 平成3年9月1日 大阪厚生年金病院会議室

ITIインプラントの破折に関する電顕的観察
 Fタイプシリンダー部の破折およびTPSメタルキ
 ャップと固定用ネジの破折
 大阪市開業 阪本義樹
 一般講演
 平成3年9月1日 大阪厚生年金病院会議室

当院におけるITIインプラント破折症例について
 厚生年金病院 西村敏治
 一般講演
 平成3年9月1日 大阪厚生年金病院会議室

生体活性ガラス（SE51）を用いた人工歯根の開発
 と臨床応用について
 株式会社ニコン 医用材料事業推進室
 特別講演
 平成3年9月1日 大阪厚生年金病院会議室

単独植立特集
 泉大津市開業 佐藤文夫
 吹田市開業 須田誠治
 大阪市開業 阿保幸雄
 一般講演
 平成3年11月10日 大阪厚生年金病院会議室

無歯顎症例特集 総説（I）
 大阪市開業 阪本義樹
 一般講演
 平成3年11月10日 大阪厚生年金病院会議室



1991年11月
 手術見学会
 西村先生、山田屋先生、お若い。



1991年11月
 手術見学会
 厚生年金病院にて

各種無歯顎症例の検討（Ⅱ）

大阪市開業 阪本義樹

一般講演

平成4年3月15日 大阪厚生年金病院会議室

フリースタンディング、無歯顎と単独植立を含めて
15症例提示

大阪市開業 大木正雄

一般講演

平成4年3月15日 大阪厚生年金病院会議室

単独植立および無歯顎の症例について

大阪厚生年金病院歯科 大野正光、西村敏治

一般講演

平成4年3月15日 大阪厚生年金病院会議室

無歯顎症例について・ケース3例

大阪市開業 阿保幸雄

一般講演

平成4年3月15日 大阪厚生年金病院会議室

咬合の生理

大阪大学歯学部口腔生理学講座 森本俊文

特別講演

平成4年5月24日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントの問題点と今後の展望

奈良市開業 狩山昌方

一般講演

平成4年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

開業医のGTRとインプラント

大阪市北区開業 須田宣之

一般講演

平成4年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

GTR法による臨床報告

伊丹市開業 石岡一晃

一般講演

平成4年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

バイオインテグレートインプラントについて

愛媛県今治市開業 村上広樹

一般講演

平成4年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

生活歯牙移植その後の追加症例

福井市開業 大道昭仁

一般講演

平成4年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

京セラPOIインプラント臨床例

大阪厚生年金病院 西村敏治

一般講演

平成4年11月29日 大阪厚生年金病院会議室

Apically Positionend Flap Operation について

歯周治療におけるコンピューターの応用について

大阪市開業 須田誠治

一般講演

平成5年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

一本の歯牙をいかに守るか、その方策を種々考える

守口市開業 吉田春陽

一般講演

平成5年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

ブローネマルクシステムインプラントについて

箕面市開業 織辺秀也

一般講演

平成5年2月28日 大阪厚生年金病院会議室

UCLAにおけるOsseointegrated Implant療法の
概要

Advanced Surgical Techniques (Sinus Lift)

顎顔面領域へのインプラントの応用

UCLA歯学部口腔顎顔面インプラントセンター・

外科フェロー 菅井敏郎

特別講演

平成5年3月14日 大阪厚生年金病院 看護学校
講義室

新しいサイエンスとしての硬組織再建の原理

北海道大学歯学部生化学教室教授 久保木芳徳

特別講演

平成5年5月23日 大阪梅田新阪急ビル12階スカ
イルーム

ボーンジェクトについて

株式会社高研 研究所部長 伊藤 博

招待講演

平成5年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

IMZインプラントの臨床

大阪市開業 阪本貴司

一般講演

平成5年8月29日 大阪厚生年金病院会議室

GBRとフリースタANDINGインプラント

大阪市開業 石岡一晃

一般講演

平成5年11月28日 大阪厚生年金病院会議室

外傷歯の歯内骨内法による治療の長期経過観察

大阪厚生年金病院歯科 山内広茂

一般講演

平成5年11月28日 大阪厚生年金病院会議室

私の臨床、歯周治療ならびに骨内インプラントに応用したGTR症例を中心に

大阪市開業 山田屋孝太郎

一般講演

平成5年11月28日 大阪厚生年金病院会議室

初めてのインプラント、カルチテックを使って

吹田市開業 滝本公平

一般講演

平成6年2月6日 大阪厚生年金病院会議室

わたしの根管治療、より効率的な根管治療のための提案

栗林 博

一般講演

平成6年2月6日 大阪厚生年金病院会議室

3iインプラントの特徴とその臨床

貴和会歯科診療所院長・JIADS講師 小野善弘、高

端泰伸

一般講演

平成6年2月6日 大阪厚生年金病院会議室

広島大学におけるインプラントの研究と臨床の現状

広島大学歯学部歯科補綴学第一講座教授 赤川安正

特別講演

平成6年5月29日 大阪厚生年金病院会議室

ITIインプラント破折部のSEM像

八尾市開業 大野正光

一般講演

平成6年9月11日 大阪厚生年金病院会議室

臨床写真とスライド作成

大阪市開業 石見隆夫

一般講演

平成6年9月11日 大阪厚生年金病院会議室

デンツプライインプラントスペクトロシステム、特にスクリューインプラントについて

株式会社インプラテックス 北山良計

一般講演

平成6年9月11日 大阪厚生年金病院会議室

京セラ社完全埋入型インプラントについて

京セラ株式会社バイオセラム事業部 西尾洋一

一般講演

平成6年12月4日 大阪厚生年金病院会議室

自家製インプラントSSIについて、須田・阪本考案によるチタンインプラント

吹田市開業 須田誠治

一般講演

平成6年12月4日 大阪厚生年金病院会議室

サイナスリフトについて、種々の材料を用いての臨床成績

京都大学医学部口腔外科学教室 別所和久

特別講演

平成6年12月4日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントにおけるデンタルCTの役割（新開発CTスキャナ・ソフトによるインプラント・サイトの輪切り）

昭和大学歯学部歯科放射線学講座教授 岡野友宏

特別講演

平成7年2月26日 大阪厚生年金病院会議室

大阪厚生年金病院口腔外科における過去2年間のインプラント症例検討

大阪厚生年金病院歯科 西村敏治

一般講演

平成7年2月26日 大阪厚生年金病院会議室

動物実験における失敗例

大阪市開業 長谷川啓保

特別講演

平成7年2月26日 大阪厚生年金病院会議室

骨形成、骨再成の制御

大阪大学医学部整形外科助教授 高岡邦夫

特別講演

平成7年5月28日 大阪梅田新阪急ビル12階スカ
イルーム会議室

顎骨の断面像の検討、X線多軌道断層撮影法とCT
多断面再構築法の比較

大阪厚生年金病院歯科 川植康史

一般講演

平成7年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

私のインプラント臨床雑感

愛媛県今治市開業 村上広樹

一般講演

平成7年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

IMZ、インテグラル、3i各インプラントの比較検討、
特にアバットメント上部構造について

東大阪市開業 阪本貴司

一般講演

平成7年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

バイオセラムポーラスインプラント、その後の経
年的変化とその他失敗例について

吹田市開業 須田誠治

一般講演

平成7年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

Vertical Demensionを保存するための取り組み、
インプラントと自家歯牙移植を用いて

大阪市中央区 畠山歯科勤務 赤野弘明

一般講演

平成7年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

インプラント術前検査におけるレントゲン診断に
ついて、CT、断層、パノラマ等の比較について

大阪市中央区 阿保歯科医院非常勤務 木村 正

一般講演

平成7年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

顎関節症の基礎と治療法について

箕面市開業 赤西正光

一般講演

平成7年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

咬合力測定システムDENTAL PRESCALE
OCCLUZERについて

東京歯材社 事業部部長 竹内康人

一般講演

平成7年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

吸収性コラーゲン膜 (TISSUE GUIDE) による歯
周組織再建

日本歯周病学会 指導医 児玉俊郎

一般講演

平成8年3月3日 大阪厚生年金病院会議室

サンディゴ・インプラントシンポジウム、Dr
Bubbushのコースを受けての報告

泉大津市開業 佐藤文夫

一般講演

平成8年3月3日 大阪厚生年金病院会議室

会員発表症例その後の経過

大阪市開業 石見隆夫、神戸市開業 高田勝彦、

箕面市開業 織辺秀也

一般講演

平成8年3月3日 大阪厚生年金病院会議室



1996年3月
研究会の定例会場
大阪厚生年金病院2F会議室

研究会10年を振り返りみて
 大阪口腔インプラント研究会・会長 阪本義樹
 10周年記念特別講演
 平成8年5月18日 大阪国際交流センター

部分欠損症例におけるペリオ処置とインプラント
 千里ペリオ・インプラントセンター所長 小野善弘
 10周年記念特別講演
 平成8年5月18日 大阪国際交流センター

インプラントと天然歯との共存、インプラント周囲
 のマイクロコスモス
 東京歯科大学病理学講座助教授 井上 孝
 10周年記念特別講演
 平成8年5月18日 大阪国際交流センター

部分欠損症例におけるインプラントの効果
 熊本県本渡市開業 中村社綱
 10周年記念特別講演
 平成8年5月18日 大阪国際交流センター



1996年5月18日
 10周年記念講演会
 会場の大阪国際交流センター



1996年5月18日
 10周年記念特別講演会会場



1996年5月18日
 10周年記念講演会
 業者展示



1996年5月18日
 10周年記念講演会
 祝賀会 功労者の先生方



1996年5月18日
 10周年記念特別講演会 演者
 (左から中村社綱先生、井上孝先生、小野善弘先生)

会員発表症例その後の経過
大阪市北区開業 阪本義樹、
大阪市中央区開業 阿保幸雄
一般講演

平成8年9月1日 大阪厚生年金病院会議室

感染源としてのデンタルプラーク、意義あるデンタルプラークコントロールのために
大阪大学歯学部保存学教室教授 恵比寿繁之
特別講演

平成8年12月8日 大阪厚生年金病院会議室

口腔インプラント手術を行なうための断層撮影装置
各社担当(AZ-3000、Comm CAT、プロイランCC、OP100-OT、ペラビュースコープ、シーメンス)
一般講演

平成9年3月2日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントかトランスプラントかの選択基準
愛知県海部郡開業 月星光博
特別講演

平成9年5月11日 大阪梅田新阪急ビル

困難な顎補綴の維持に応用したインプラントの2症例
大阪厚生年金病院歯科口腔外科 内田吉保
一般講演

平成9年8月31日 大阪厚生年金病院会議室

吸収性メンブレンの使用症例についての考察
東大阪市開業 阪本貴司
一般講演

平成9年8月31日 大阪厚生年金病院会議室

待時抜歯窩におけるインプラント治療の症例報告
東大阪市開業 牛窪俊博
一般講演

平成9年8月31日 大阪厚生年金病院会議室

ノン・リティナー有床義歯
大阪大学理工学教室 寺岡文雄、
吹田市開業 須田誠治
一般講演

平成9年11月30日 大阪厚生年金病院会議室

自己矯正症例発表
大阪市開業 岩本 浩
一般講演

平成9年11月30日 大阪厚生年金病院会議室

自己インプラント症例発
泉大津市開業 黒田収平
一般講演

平成9年11月30日 大阪厚生年金病院会議室

自己インプラント症例
川西市開業 木村正信
一般講演

平成9年11月30日 大阪厚生年金病院会議室

自己インプラント症例発
埼玉県浦和市開業 瀬川正臣
一般講演

平成9年11月30日 大阪厚生年金病院会議室

日本口腔インプラント学会認定医について
日本口腔インプラント学会 常任理事 阪本義樹
一般講演

平成10年3月8日 大阪厚生年金病院会議室

インプラント体の除蛋白、脱脂肪、滅菌など再生方法
東京都開業 浦口昌秀
一般講演

平成10年3月8日 大阪厚生年金病院会議室

口腔インプラントの成功の鍵を握る骨の細胞生物学
大阪大学歯学部生化学講座教授 米田俊之
特別講演

平成10年6月28日 大阪梅田新阪急ビル

上顎前歯部1歯欠損症例、フリアテック・ツイン
プラス・インプラントを用いて
インプラントと連結した天然歯の圧下症例、補綴
から8年経過して

吸収性膜“ガイダー”を用いた露出根面被覆
吸収性膜“ティッシュガイド”を用いた一症例
各歯トレーを用いたトランスファー・コーピング
印象法について

大阪市開業 山田屋孝太郎
一般講演

平成10年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

X線断層撮影装置を利用して
大阪厚生年金病院 歯科口腔外科 猪木一雄
一般講演
平成10年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

X線断層撮影装置を利用して
泉大津市開業 佐藤文夫
一般講演
平成10年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

X線断層撮影装置を利用して
大阪市開業 阿保幸雄
一般講演
平成10年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

私の欲しいインプラント、インプラントとアバットメントの接合部の形態
泉大津市開業 佐藤文夫
一般講演
平成10年8月30日 大阪厚生年金病院会議室

私は今このような理由でこのインプラントを臨床に取り入れている、ITI
大阪市開業 阿保幸雄
一般講演
平成10年11月8日 大阪厚生年金病院会議室

私は今このような理由でこのインプラントを臨床に取り入れている、カルチテック
大阪市開業 西村敏治
一般講演
平成10年11月8日 大阪厚生年金病院会議室

私は今このような理由でこのインプラントを臨床に取り入れている、ブローネマルク・インプラント・システム
泉大津市開業 佐藤文夫
一般講演
平成10年11月8日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントの矯正への可能性
池田市開業 安田清次郎
一般講演
平成10年11月8日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントの上部構造、特にネジの締め付けと弛みについて

大阪大学歯学部附属病院口腔総合診療部
教授 前田芳信
招待講演
平成11年2月21日 大阪厚生年金病院会議室

マルチコーンワンシステムを用いた両側遊離欠損症例

神戸市開業 米澤大地
一般講演
平成11年2月21日 大阪厚生年金病院会議室

通院治療にて治癒した歯性上顎洞炎の5症例

東大阪市開業 阪本貴司
一般講演
平成11年2月21日 大阪厚生年金病院会議室

顎骨をめぐる微小循環

神奈川歯科大学歯学部口腔解剖学教室 高橋和人
特別講演
平成11年5月16日 大阪厚生年金病院 看護学院
階段教室

MTMと歯周処置を用いた症例

西宮市開業 長田卓央
一般講演
平成11年9月5日 大阪厚生年金病院会議室

天然歯と連結した歯科用インプラントとインプラント体同士の連結との2年後の比較

堺市開業 奥田謙一
一般講演
平成11年11月21日 大阪厚生年金病院会議室

上部構造装着後1年以上経過した3症例について

堺市開業 白井敏彦
一般講演
平成11年11月21日 大阪厚生年金病院会議室

血液細胞分析について、歯科疾患へのLive Blood Analysisの応用

泉大津市開業 黒田収平
一般講演
平成11年11月21日 大阪厚生年金病院会議室

臨床報告

大阪市開業 岩本 浩

一般講演

平成11年11月21日 大阪厚生年金病院会議室

臨床報告

大阪厚生年金病院 歯科口腔外科 内田吉保

一般講演

平成11年11月21日 大阪厚生年金病院会議室

各種インプラント体表面処理について

大阪市開業 阪本義樹

一般講演

平成11年11月21日 大阪厚生年金病院会議室

顎骨をめぐる微小循環

神奈川歯科大学歯学部口腔解剖学教室 高橋和人

招待講演

平成12年2月20日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントにおけるティッシュエンジニアリング材料の応用

名古屋大学大学院医学研究科 頭頸部・感覚器外

科学講座 主任教授 上田 実

特別講演

平成12年5月14日 大阪梅田新阪急ビル

当院におけるインプラント症例について

大阪市開業 市原 聡

一般講演

平成12年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

一般講演 ペリオについて

大阪市開業 須田宜之

一般講演

平成12年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

上顎洞サイナス・リフト

大阪厚生年金病院 歯科口腔外科 内田吉保

一般講演

平成12年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

上顎洞ソケット・リフト

大阪市開業 西村敏治

一般講演

平成12年9月3日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントに各種アタッチメントを利用したオーバーデンチャー

神戸市開業 高田勝彦

一般講演

平成12年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

アパタイトについての私見

神戸市開業 高田勝彦

一般講演

平成12年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

上顎洞ソケット・リフト（第2報）

大阪市開業 西村敏治

一般講演

平成12年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントに加わった咀嚼力等に対応した海綿骨骨梁X線像の観察

泉大津市開業 佐藤文夫

一般講演

平成12年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

各種インプラントのトラブル症例

大阪市開業 阪本貴司

一般講演

平成12年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

各種インプラントのトラブル症例

大阪厚生年金病院 歯科口腔外科 内田吉保

一般講演

平成12年12月3日 大阪厚生年金病院会議室

各種インプラントシステムに対する私見（シンポジウム）

フィクスチャー・アバットメント・切削器具・印象術式・上部構造の固定方法・経費など

3i 神戸市開業 高田勝彦

ITI 大阪市開業 阿保幸雄

ブローネマルク 佐藤文夫

カルチテック 西村敏治

IMZ 阪本貴司

一般講演

平成13年2月18日 大阪厚生年金病院会議室

インプラント植立のために“骨延長を利用した Ridge Augmentation”

香川県立中央病院歯科口腔外科

主任部長 三次正春

特別講演

平成13年5月27日 大阪梅田新阪急ビル

インプラントと骨の相互関係より多血小板血漿の骨造成における経過報告

神戸市開業 高田勝彦

一般講演

平成13年9月2日 大阪厚生年金病院会議室

強度の反対咬合を呈する口蓋裂患者に対して矯正ならびに補綴治療で審美的回復をはかった一例

大阪市開業 山田屋孝太郎

教育講演

平成13年12月2日 大阪厚生年金病院会議室

ペリオとインプラント

高石市開業 中島 康

一般講演

平成13年12月2日 大阪厚生年金病院会議室

当院におけるITIインプラントの臨床

宝塚市開業 山野総一郎

一般講演

平成13年12月2日 大阪厚生年金病院会議室

歯周治療の基礎（ペリオの基本処置）

大阪市開業 阿保幸雄

教育講演

平成14年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

各種インプラントを使用した矯正の経過報告

高田歯科 米澤大地

一般講演

平成14年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

各種インプラント上部構造作成にあたっての技工学的検討

歯科技工士 今西正史

招待講演

平成14年2月17日 大阪厚生年金病院会議室

塩基性線維芽細胞増殖因子を用いた歯周組織再生療法について

大阪大学大学院 口腔治療学 教授 村上伸也

特別講演

平成14年5月19日 ホテルアウィーナ大阪

骨移植など、外科処置を併用したインプラント治療例

近畿大学医学部病院口腔科 内田吉保

第2回日韓学術交流会 会員発表

平成14年5月19日 ホテルアウィーナ大阪

重度歯周炎に対するインプラント治療

大阪府高石市開業 中島 康

第2回日韓学術交流会 会員発表

平成14年5月19日 ホテルアウィーナ大阪

インプラント治療、歯周再生療法と関連する臨床検査

大阪大学付属病院 口腔病理診断部

助教授 石田 武

招待講演

平成14年9月1日 大阪厚生年金病院会議室

サイナスリフトの臨床

藤枝市立総合病院

歯科口腔外科科長 澤 裕一郎

招待講演

平成14年12月1日 大阪厚生年金病院会議室

日常臨床における自家歯牙移植の導入

堺市開業 白井敏彦

一般講演

平成14年12月1日 大阪厚生年金病院会議室

口腔内写真の撮影Ⅱ

大阪市開業 石見隆夫

教育講演

平成15年2月9日 大阪厚生年金病院会議室

根尖病巣を有する歯牙抜歯直後のインプラント埋入に関する観察（雑種犬）

泉大津市開業 佐藤文夫

一般講演

平成15年2月9日 大阪厚生年金病院会議室

顎骨の3次元観察におけるCT活用法について、
病診連携MPRソフトの活用を含めて

岸和田市開業 川植康史

一般講演

平成15年2月9日 大阪厚生年金病院会議室

インプラント植立後の生着固定と上部構造の装着時
期、骨と血管の新生からみたアーリーローディング

大阪歯科大学 解剖学講座 教授 諏訪文彦

特別講演

平成15年5月25日 大阪梅田新阪急ビル

最先端歯周組織再生医療、自己骨髄間葉系幹細胞
移植による再生医療

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 先進医療開

発科学講座 教授 栗原英見

招待講演

平成15年9月7日 大阪厚生年金病院会議室

天然歯とインプラントとの連結の検証

大阪市開業 奥田謙一

一般講演

平成15年9月7日 大阪厚生年金病院会議室

フィクチャー埋入後の下歯槽神経麻痺について

大阪市開業 阪本貴司

教育講演

平成15年11月16日 大阪厚生年金病院会議室

だれでもできるサイナスリフト、新術式の紹介

神戸市開業 高田勝彦

一般講演

平成15年11月16日 大阪厚生年金病院会議室

新しいソケットリフト法、Dr.Cosciのドリルシス
テムの使用経験

大阪市開業 西村 望

一般講演

平成15年11月16日 大阪厚生年金病院会議室

東洋医学のインプラントへの応用

和泉市開業 久保茂正

教育講演

平成16年2月8日 大阪厚生年金病院会議室

包括的歯科治療をめざして、開業3年目の私の日
常診療

西宮市開業 長田卓央

一般講演

平成16年2月8日 大阪厚生年金病院会議室

私の日常臨床、インプラントスクリューの破折を
含む

箕面市開業 織邊秀也

一般講演

平成16年2月8日 大阪厚生年金病院会議室

高齢者の審美領域におけるインプラント埋入症例

大阪市開業 阿保淳一

一般講演

平成16年2月8日 大阪厚生年金病院会議室

インプラント成功のための治療戦略

京都大学大学院医学研究科 感覚運動系外科学講座

坪井陽一

特別講演

平成16年5月23日 ホテルアウィーナ大阪

部分欠損症例に対するインプラント臨床

宝塚市開業 山野総一郎

第4回日韓学術交流会

平成16年5月23日 ホテルアウィーナ大阪

6種類の金属粉末が骨芽細胞様細胞に及ぼす影響

泉大津市開業 黒田収平

第4回日韓学術交流会

平成16年5月23日 ホテルアウィーナ大阪

歯周治療にエムドゲインを使用した症例の報告

大阪市開業 山田屋孝太郎

教育講演

平成16年9月5日 大阪厚生年金病院会議室

GTR及びGBRテクニックの基礎と臨床

大阪市開業 阪本貴司

教育講演

平成16年9月5日 大阪厚生年金病院会議室

広汎性早期発症型歯周炎を疑った1症例
守口市 吉田歯科 藤森靖史
一般講演
平成16年9月5日 大阪厚生年金病院会議室

上顎におけるインプラント補綴症例
堺市開業 白井敏彦
一般講演
平成16年9月5日 大阪厚生年金病院会議室

歯根膜再生型インプラントの実験的研究
岸和田市開業 川植康史
一般講演
平成16年11月26日 大阪厚生年金病院会議室

左右に二回法および一回法インプラントを埋入した症例の経過とその評価
大阪市開業 西川和章
一般講演
平成16年11月26日 大阪厚生年金病院会議室

私の臨床
吹田市開業 前場一輝
一般講演
平成16年11月26日 大阪厚生年金病院会議室

インプラントを用いた矯正治療
大阪市開業 岩本 浩
一般講演
平成16年11月26日 大阪厚生年金病院会議室

三次元的診断の効果とリスクについて
東京都千代田区開業 武田孝之
招待講演
平成17年3月13日 大阪厚生年金病院会議室

最近の歯周治療とインプラント治療の傾向について
福岡市開業 船越栄次
特別講演
平成17年5月29日 大阪歯科大学付属病院 講義室

包括治療における「歯科用CT装置PRN9000N」の臨床応用
長崎市開業 富永尚宏
一般講演
平成17年9月11日 大阪厚生年金病院会議室

歯顎顔面用CT装置の臨床応用
大阪市開業 江原雄二
一般講演
平成17年9月11日 大阪厚生年金病院会議室



2003年 例会風景



例会スナップ
阿保先生、川本先生



例会スナップ
吉田先生、諏訪教授

歯科用小型X線CT (3DX) 開発コンセプト

新井嘉則

一般講演

平成17年9月11日 大阪厚生年金病院会議室

矯正歯科におけるインプラント補綴症例の臨床的
検討

兵庫県三田市開業 英和裕和

一般講演

平成17年11月6日 大阪厚生年金病院会議室

症例検討シンポジウム

症例提示 大阪市開業 阪本貴司

治療計画発表Ⅰ (シンポジスト)

大阪市開業 阿保幸雄

治療計画発表Ⅱ (シンポジスト)

神戸市開業 高田勝彦

グループディスカッション発表Ⅲ (シンポジスト)

大阪市開業 阿保幸雄、神戸市開業 高田勝彦

平成17年11月6日 大阪厚生年金病院会議室

コンビームCTの問題点、寸法再現法とMPR (多平
面再構築) ソフトの問題点を含めて

岸和田市開業 川植康史

一般講演

平成18年2月5日 大阪厚生年金病院会議室

大学の研究成果の「社会還元」と「世界への挑戦」、
iCATナビゲーションシステムのご紹介

大阪大学総合診療科 十河基文

一般講演

平成18年2月5日 大阪厚生年金病院会議室



2006年9月

日本口腔インプラント学会 新潟にて

20周年記念講演会・記念祝賀会 第6回 日韓学術交流会

平成18年5月27日(土)・28日(日)
ホテル アウイーナ大阪

平成18年5月27日・28日、大阪口腔インプラント研究会 創設20周年記念講演会・祝賀会が大阪市内のホテル“アウイーナ大阪”にて開催されました。また、平成13年度より本会と韓国国際学士会との間で行われている“日韓学術交流会・第6回大会”も合わせて開催されました。

記念講演会では、韓国の金鴻基先生が“各種インプラントの臨床的評価および抜歯即時Flaplessインプラントの実際”について、宮本泰和先生が“歯周・審美・インプラント治療における再生療法の応用”について、内藤正裕先生が“前歯修復のポイントと全体像の見方”について講演されました。

それぞれインプラント、歯周病、補綴の分野での臨床の第一人者の先生方だけあり、会場は満席となり盛況な講演会となりました。

講演会の前日には20周年記念祝賀会・祝宴が開催されました。社団法人日本口腔インプラント学会理事長の川添堯彬先生をはじめ、国内外の学会関係者や大学関係者など多くの先生に来賓として出席いただきました。

祝賀会では、本研究会の発足から会への功労のあった会員の先生に佐藤文夫会長より感謝状と記念品が手渡されました。また、本年度で6回目を迎える日韓学術交流会の韓国側の代表である金鴻基先生と通訳などでお世話になった金賢哲先生にも当研究会より感謝の意を込めて記念品が贈られました。

祝賀会のバックミュージックとして“関西シティフィルハーモニー交響楽団”の生演奏が記念祝賀会をより格調高い雰囲気に盛り上げてくれました。

本オーケストラは、当会の阿保幸雄 副会長が所属するオーケストラであり、先生も当日はメンバーとして一緒にチェロを演奏していただきました。

インプラント治療も、この20年で大きな進歩を遂げ、多くの患者さんに歯を取り戻した喜びを与えてきたことと思います。その臨床をリードしてきた研究会の記念式典・講演会に参加させていただきました。大阪口腔インプラント研究会20年の活動の意義深さをあらためて感じる事が出来ました。

やっぱり関西まで!

日時 平成18年5月27日(土)・28日(日)
第6回日韓学術交流会・記念懇親会
大阪口腔インプラント研究会20周年記念講演会

同時開催

インプラント治療がまだ、先端治療であった20年前、今後のインプラント治療の正しいあり方を追求し、同じ考えの先生が集まり、発足したのが本研究会です。

会員は大学教授から研究者、そして治療の最前線に立つベテラン臨床歯科医や若手歯科医ら約160名です。21世紀の高齢化社会を迎え、患者さんの口腔機能の回復のための、研究と臨床に貢献できるように、今後も充実した活動を続けて行きたいと思っています。

今回、インプラント・歯周病・補綴の分野で特にご専門の3名の先生を迎え記念講演会を開催致します。
 会長 佐藤 文夫

●記念講演

5月27日(土) **各種インプラントの臨床的評価及び抜歯即時Flaplessインプラントの実際**

大韓歯科移植(インプラント)学会創立元老
 韓国・国際口腔インプラント学会 会長



金 鴻基 先生

PM15:00~PM17:00
 特別講演Ⅰ部 金 鴻基先生
 PM17:30~PM20:30
 記念祝賀会

5月28日(日)

歯周・審美・インプラント治療における再生療法の応用

京都市中央区 開業
 日本臨床歯周病学会
 副会長 指導医



宮本泰和 先生

AM10:00~PM12:30
 特別講演Ⅱ部 宮本泰和先生

5月28日(日)

前歯修復のポイントと全体像の見方

東京都港区 開業
 神奈川歯科大学
 客員教授



内藤正裕 先生

PM14:00~PM16:30
 特別講演Ⅲ部 内藤正裕先生

PROGRAM

5月27日(土)

14:30 受付
 15:00~17:00 特別講演 第Ⅰ部 第6回日韓学術交流会 (金剛東の間)
 「各種インプラントの臨床的評価及び抜歯即時Flaplessインプラントの実際」
 韓国・国際口腔インプラント学会
 会長 金 鴻基
 座長 佐藤 文夫 会長
 17:00 記念祝賀会・祝宴受付
 17:30~20:30 記念祝賀会・祝宴 (金剛中の間)

5月28日(日)

9:30 受付
 10:00~12:30 特別講演 第Ⅱ部 (葛城の間)
 「歯周・審美・インプラント治療における再生療法の応用」
 四条烏丸ベリオ・インプラントセンター 宮本 泰和
 座長 高田 勝彦 副会長
 12:30~14:00 昼 食
 14:00~16:30 特別講演 第Ⅲ部 (葛城の間)
 「前歯修復のポイントと全体像の見方」
 神奈川歯科大学
 客員教授 内藤 正裕
 座長 阿保 幸雄 副会長

講演会



会場のホテル「アウイーナ大阪」



佐藤文夫会長 あいさつ



記念講演 内藤 正裕先生



記念講演 宮本 泰和先生



記念講演 金 鴻基先生



祝賀会



祝賀会 会場 “ホテルアウィーナ大阪”



オーケストラの生演奏（関西シティフィルハーモニー交響楽団）



功労賞の先生へ佐藤会長より記念品が贈られました。(金 賢哲先生)



日韓交えての集合写真

日韓交えての集合写真

来賓



来賓 川添堯彬先生



来賓（左より川原先生、作田先生、森脇先生）



来賓（左より覚道先生、山上先生）



阪本名誉会長（中央）と韓国からの来賓の先生方



準備委員の先生（左より黒住、西川、白井、高田、佐藤、阪本、奥田、長田、山野）

大阪口腔インプラント研究会役員

2006

| | |
|---------|---------------|
| 会 長 | 佐 藤 文 夫 |
| 副 会 長 | 阿 保 幸 雄 |
| 副 会 長 | 高 田 勝 彦 |
| 専 務 理 事 | 阪 本 貴 司 |
| 理 事 | 総 務 山 野 総一郎 |
| | // 長 田 卓 央 |
| | 学 術 山田屋 孝太郎 |
| | // 木 村 正 |
| | 広 報 白 井 敏 彦 |
| | // 西 川 和 章 |
| | 会場運営 石 見 隆 夫 |
| | // 藤 本 佳 之 |
| | 会 計 奥 田 謙 一 |
| 名 誉 会 長 | 阪 本 義 樹 |
| 相 談 役 | 西 村 敏 治 |
| 監 事 | 橋 本 脩 吉 田 春 陽 |
| 参 与 | 岡 村 親一郎 |

編集後記

阪本 貴司

記念誌の編集を担当させて頂き、大変光栄に感じています。

本会の発足が昭和61年5月です。当時のインプラント治療に対し疑問をいただき、そして今後の正しい道筋を作るべき本会を発足させた諸先輩の熱意と見識には頭が下がる思いです。自らの知識と技術を高め、互いに議論し続けてきたすばらしい会だと思っています。

本記念誌を発刊するにあたり、本会に多大な功績があり是非とも当時の思い出や考えをご執筆頂きたく思った先生が数多くいました。残念ながら執筆かなわなかった先生もあります。そのため本記念誌に会員の先生方の思いのすべてを集積できたとは思いません。しかし、その分多くのページを会員の例会発表と執筆紹介に費やしました。20年の歴史を振り返るのに、会員発表ほどその時代の臨床を評するものはあるでしょうか。

当時は、主流であった術式や材料でも現在は姿を消したものもあります。最新の技術や理論がこんな昔に発表されていたのかと、感心させられる内容もあります。また、普段はなかなか聴講できないような著名な先生が通常例会で講演されています。当時の発表内容を振り返ることで、会員先生の当時の熱意や考えを感じていただきたいと思います。また臨床の最前線での活躍を知って頂きたいと思います。

歯科医療においてインプラントは不可欠な処置になりました。しかし、インプラント治療はそれ単独では成り立ちません。歯周治療や補綴治療、矯正治療などの分野と関連せねば長期の安定した経過にはつながりません。また、インプラント治療を取り入れる事でそれらの治療を有利に進めることが可能です。そういう意味では、“インプラント研究会”という名前は、現在の包括的治療からは、やや限定された名前のように感じます。しかし、20年前にはこんなにインプラントが“流行る”と誰が思ったのでしょうか。現在では正に“Interdisciplinary treatment”、多くの分野に関わるインプラント治療を20年も前に会の名前にした当時の背景を考えれば、今後30年、40年と診療の趨勢が変わってもこの名前は生き続けて行くように思います。

最後に、原稿の執筆や写真の提供などでお世話になりました先生には、大変感謝致しています。本会が今後益々、臨床現場の先生方の知識と技術の研鑽の会として発展して行くことを願って本誌の編集の言葉とさせて頂きます。



発行 平成19年3月1日
発行所 大阪口腔インプラント研究会
〒595-0006
大阪府泉大津市東助松町1-13-1
佐藤歯科診療所内
TEL 0725-32-5530

発行者 佐藤文夫
編集 阪本貴司
制作 有限会社 プレアート